SONY

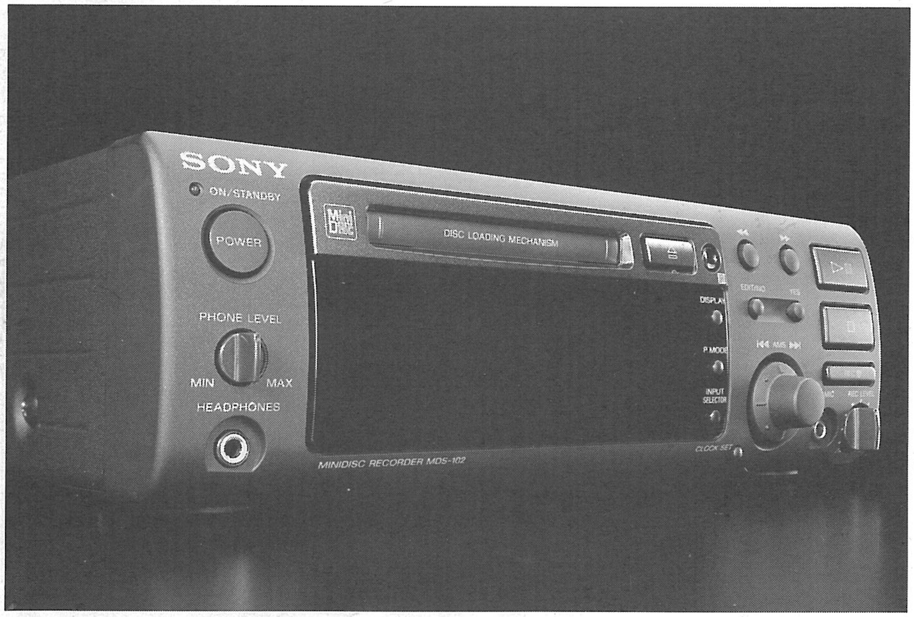
3-757-559-01 (1)

ミニディスクレコーダー

MDS-102

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、
必ず保存してください。



MiniDisc

©1993 by Sony Corporation

主な特長

本機はミニディスクフォーマットを採用したミニコンポサイズミニディスクレコーダーです。

CDプレーヤー相当の優れた操作性

瞬間ダイレクト選曲
リモコンを使うと25曲までが、CDプレーヤー同様、ダイレクトに選曲できます。

25曲までのミュージックカレンダー
CDプレーヤーの操作感覚で使えると同時に、カレンダーの枠の有無でソフトディスク（プリマスター）か録音できる生ディスクかが区別できるので、録音・編集時に便利です。

豊富な再生機能
シャッフル、プログラム、ミュージックスキャン、全曲リピート、1曲リピート、また語学勉強に便利なA–Bリピートなどがリモコンで操作できます。

正確なデジタルピークメーター
直接デジタルデータを表示しますのでセットによる差や経年変化による狂いが生じません。デジタル入力時や演奏時もレベルを見ることができます。

豊富な独自の機能

ディスク名や曲名などを1曲につき100文字まで入力可能
リモコンを使ってアルファベットの大文字・小文字、数字、記号が録音用ミニディスクに書き込めます。入力する文字の選択は、本体のAMSつまみを回して行うこともできます。（ディスク1枚につき約1700文字）

ダイヤルタッチの頭出し
AMSつまみを回して、好きな曲の頭出しが簡単にできます。

瞬時の全曲消去、1曲消去が可能
従来のオーディオ機器とは異なり、瞬間に全曲を消したり、1曲を消したりできます。

TOC EDIT機能による多様な編集
曲を分ける、つなぐ、移動するなどの編集操作が簡単にできます。分割の時には音を聞きながら位置を細かく設定できます。

曲番を付けるトラックマーキング機能
自動的に曲間で曲番を付けたり、任意の位置で曲番を付けることができます。

優れた技術

音声圧縮技術（ATRAC）を採用
人の耳には聴こえない音をカットして音楽データを約1/5に圧縮します。この技術によりCDとほぼ同じ時間の記録ができるようになりました。

一時停止からの再スタート時のすばやい音出し
これまで、高価なプロ用機器に採用されていたメモリースタート機能です。一時停止解除後、ディスクではなく、本体メモリーから音を拾うので、ディスクの回転待ちによる遅れ（約0.1〜0.3秒）がありません。

録音時の年、月、日、時刻を自動的に記録
本体にカレンダー機能を搭載していますので、1度時計を合わせれば、録音時に日時を自動的に書き込みます。時計は一時的な停電等にも止まることはありません。

充実した入出力端子

光デジタル、アナログ入出力端子とマイク入力端子を装備
特に光デジタル出力端子を持つオーディオ機器と組み合わせれば、レベル設定が不要で高音質な録音ができます。

オーディオミニコンポに対応するオーディオバス端子
ソニーのオーディオミニコンポ“pixy”と組み合わせると便利なオーディオバス端子が付いていますので、オートファンクション、シンクロ録音などが可能です。

録音機能について
本機では、ディスクを入れてすぐに録音を始めると、すでに録音されている内容を自動的にすべて消し、代わりに新しい内容を録音します。
すでに録音されている内容を残して録音したい場合は、必ず20ページの手順に従って録音状態を設定してください。
この設定は、必ず本機をお使いになる一番初めに行ってください。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

目次

準備
お使いになる前に……4
使用上のご注意……4
ミニディスクの取り扱いかた……4
箱から出したら……5
設置場所について……5
付属品を確認しましょう……5
リモコンの電池の入れかた……5
各部の名称……6
本体……6
リモコン……7
接続する……8
接続するときのご注意……8
タイマー録音について……8
光デジタル入出力端子について……8
pixyに接続する……9
他のオーディオコンポに接続する……10
マイクを接続する……11
時計を合わせる……12

ミニディスクを聞く
演奏する……13
1曲目から聞く……13
聞きたい曲を直接選ぶ（ダイレクト選曲）……14
曲の頭出しをする（AMS）……14
1曲の中で聞きたいところを探す（サーチ）……14
演奏中の曲名や残り時間を確かめる……15
録音日時を確認する……15
順序不同に聞く（SHUFFLE演奏）……16
聞きたい曲を好きな順に聞く（PROGRAM演奏）……16
繰り返し聞く（REPEAT演奏）……18
リピート演奏する……18
指定した部分を繰り返し聞く（A-Bリピート）……18
各曲の頭を少しずつ聞く（ミュージックスキャン）……19
聞きやすい曲間隔にする（オートスペース）……19

ミニディスクに録音する
録音状態を設定する……20
デジタル入力端子につないで録音する……22
録音する（デジタル録音）……22
録音した内容を誤まって消さないために……23
ライン入力端子につないで録音する……24
録音する（アナログ録音）……24
録音レベルを調節する……25
マイクをつないで録音する……26
曲番を記録する（トラックマーキング）……27
CDをシンクロ録音する……28
録音した曲をすぐに聞くには……29

録音したミニディスクを編集する
編集機能の使いかた……30
曲を消す（ERASE機能）……32
1曲ずつ消す……32
ディスク中のすべての曲を消す……33
1曲中の一部分を消す……33
曲を分ける（DIVIDE機能）……34
曲をつなぐ（COMBINE機能）……36
曲を移動する（MOVE機能）……38
曲名やディスク名を付ける（TITLE機能）……39
本体で曲名を付ける……39
本体でディスク名を付ける……40
リモコンで曲名を付ける……41
リモコンでディスク名を付ける……41

その他
主な仕様……43
保証書とアフターサービス……43
メッセージ表示一覧……44
システム上の制約について……44
故障かな？……45
ミニディスクとは？—解説……46
デジタルコピーのルールについて
（シリアルコピーマネージメントシステム）……48
索引……50

本体とリモコンで表示が違うボタンがあります
このマニュアルでは、操作のしかたを本体を主体にして説明してあります。リモコンでしか操作できない機能については、「リモコンで操作します」と明記してあります。
なお、同じ働きであっても、本体とリモコンのボタン表示が違う場合は、リモコンのボタン表示を（ ）に入れて表記してあります。
例）►II ボタン（►ボタン）

お使いになる前に

使用上のご注意

電源について
家庭用電源コンセント（AC100ボルト）でお使いください。
本機は国内用ですので、海外ではお使いになれません。
電源コードを無理に曲げたり、重い物をのせると、コードに傷がついて火災や感電の原因になります。傷がついたコードは使わないでください。
電源コードを抜くときは、必ずプラグを持ってください。

チューナーやテレビといっしょに使用する場合
チューナーやテレビに雑音や映像の乱れが生じることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をお勧めします。

感電を防ぐために
キャビネットは絶対にはずさないでください。内部に手を触れると感電することがあり、大変危険です。

異物を落とすと
内部に液体をこぼしたり、燃えやすいもの、金属などを落とすと、火災や感電、故障の原因になります。

本機の上に直接物を重ねない
本機は使用中に内部の温度がかなり上昇します。上に雑誌、コンパクトディスク（CD）などをのせたりしないでください。

留守にするときは
長い間お使いにならないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

音量調節について
ミニディスクはアナログカセットテープに比べ、非常に雑音が少なくなっています。アナログカセットテープのときのように、音のない部分で雑音を聞きながら音量を設定すると、思わぬ大音量が出て、スピーカーを破損する恐れがあります。
演奏の初めは必ず音量を小さくしておきましょう。

結露について
寒いときにお部屋の暖房を入れた直後など、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは、正常に働かないばかりでなく、ディスクや部品もいためてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをお勧めします。
結露が生じたときは、電源スイッチを入れたまま、しばらくの間（約1時間）放置し、再度電源を入れ直してからご使用ください。
もし何時間たっても正常に動作しない場合は、ソニーサービス窓口にご連絡ください。

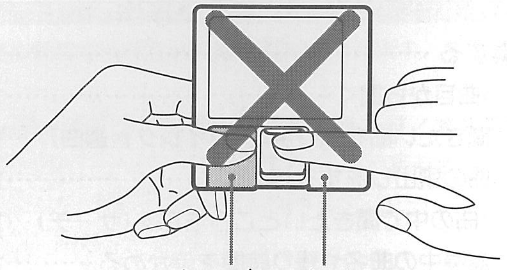
異常や不具合が起きたら
万一、異常や不具合が起きたときは、すぐに電源を切り、電源コードを必ずコンセントから抜いて、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

お手入れのしかた
キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

ミニディスクの取り扱いかた

ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない
シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。



置き場所について
直射日光が当たるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。

定期的にお手入れを
カートリッジ表面についたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

箱から出したら

設置場所について

次のような場所には置かないでください。
- ぐらついた台の上や不安定な場所。
- じゅうたんやふとんの上。
- 湿気の多い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当る所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。

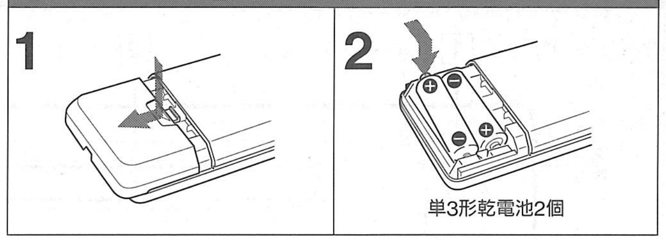
付属品を確認しましょう

本機には、次のものが付属しています。

リモートコマンダー（リモコン） RM-D1M (1)
リモコン用単3形乾電池ソニー SUM-3(NS) (2)
音声信号用接続コード (2)
AU（オーディオ）バスケーブル (1)
取扱説明書 (1)
操作早わかりカード (1)
保証書 (1)
サービス窓口・ご相談窓口のご案内 (1)

ステレオを聞くときのエチケット
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に夜は小さな音でも周囲によく通るものです。
窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

リモコンの電池の入れかた



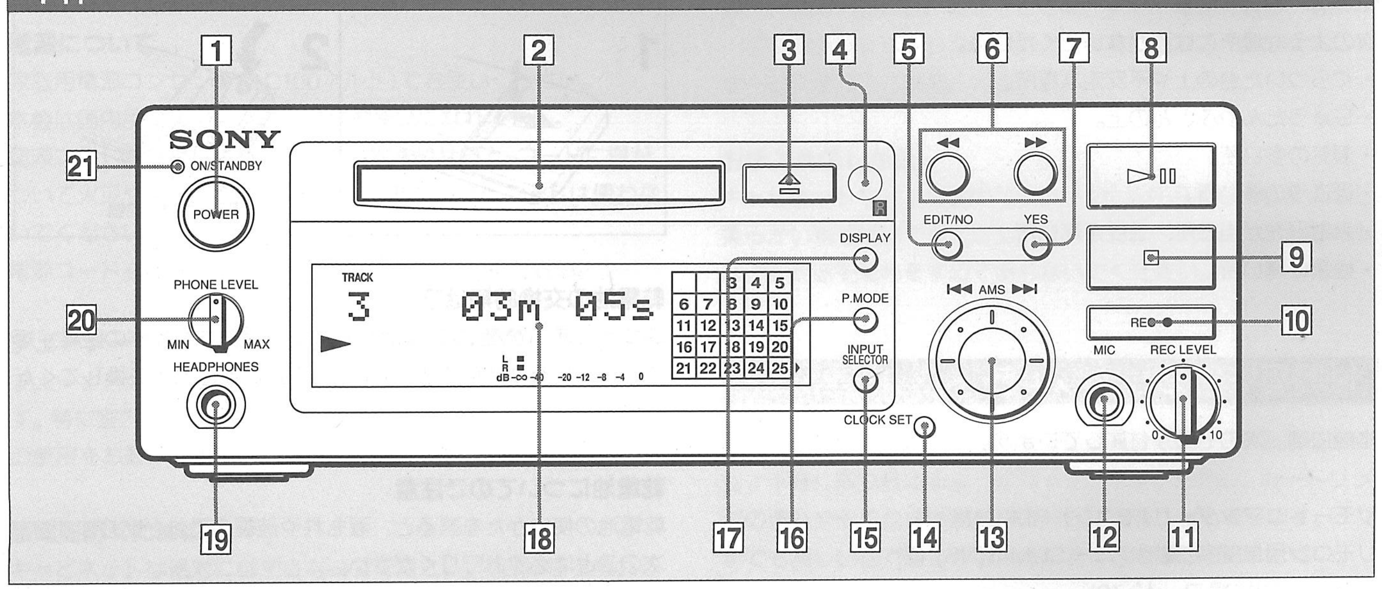
乾電池の交換時期は？
ふつうの使いかたで約6か月もちます。リモコン操作の距離が短くなったら交換時期です。2個とも新しい乾電池と交換してください。

乾電池についてのご注意
乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂の恐れがあります。
次のことは必ずお守りください。
- ＋と－の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間乾電池を使用しないときは、取り出しておいてください。液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコン使用時のご注意
リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

各部の名称

本体



1 POWER（電源）スイッチ
押すと電源が入り、もう1度押すとスタンバイになります。

2 ディスク挿入口
ディスクを差し込むと、自動的に引き込まれます。

3 EJECT⏏ディスク取り出しボタン
押すと、ディスクがディスク挿入口から出てきます。

4 リモコン受光部

5 EDIT/NO（編集選択）ボタン
各編集操作を選ぶとき、実行を取りやめるときに押します。

6 ◀◀ ▶▶（SEARCH）ボタン
曲のなかの聞きたいところを探すときに押します。

7 YES（編集実行）ボタン
EDIT/NOボタンで選択した編集操作を実行するときに押します。

8 ▶II演奏、一時停止ボタン
ミニディスクを演奏または録音するときに押します。また、演奏または録音を一時的に停止するときに押します。解除するときはもう1度このボタンを押します。

9 ■停止ボタン
演奏または録音を停止するときに押します。
また、プログラム演奏でプログラムした曲を全曲消去したいときも押します。

10 REC●（録音）ボタン
録音するときに押します。このボタンを押した後、▶IIボタンを押して、録音を開始します。録音中に自分で曲番を記録するときもこのREC●ボタンを用います。

11 REC LEVEL（録音レベル）調節つまみ
アナログ録音するときに、録音レベルを調節します。
デジタル録音する場合は調節する必要はありません。

12 MICジャック
マイク（ステレオミニプラグ付き）を差し込みます。

13 AMSつまみ
曲の頭出しや時計合わせ、プログラム、編集操作をするときに使います。つまみを押すと、演奏または一時停止状態になります。タイトル入力時は、入力する文字を選択します。

14 CLOCK SETボタン
時計合わせのときに使います。

15 INPUT SELECTOR（入力切り換え）ボタン
録音する入力信号を選びます。LINE IN端子につながれた機器から録音するときには、停止中にボタンを押して「Analog in」を表示させます。DIGITAL IN端子につながれた機器から録音するときには「Digital in」を表示させます。
録音中に押すと、曲番を付ける方法（Level Sync ON/OFF）を選択できます。

16 P.MODE（演奏モード）ボタン
演奏方法を選択するときに押します。

17 DISPLAYボタン
押すと、演奏中の曲名や残りの演奏時間を表示します。

18 表示窓

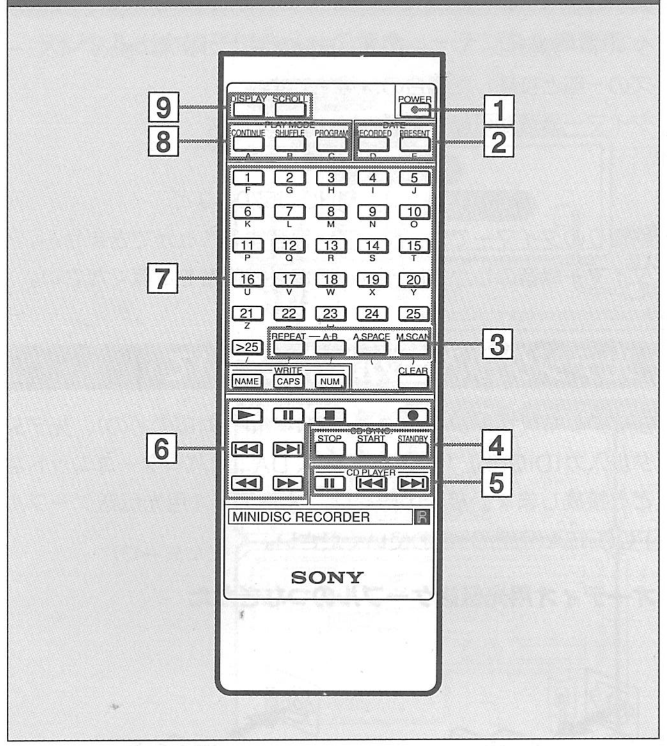
19 HEADPHONESジャック
ヘッドホン（ステレオミニプラグ付き）を差し込みます。

20 PHONE LEVELつまみ
ヘッドホンの音量を調節します。

21 ON/STANDBYインジケーター
スタンバイ状態を表示します。

＊AMSとはAutomatic Music Sensorの略です。曲の頭出しによる選曲の方法を意味します。

リモコン



1 POWER（電源）スイッチ
押すと電源が入り、もう1度押すとスタンバイになります。

2 DATEボタン
DATE RECORDEDボタン：演奏中のディス クの録音日時を表示させるときに押します。
DATE PRESENTボタン：現在の日時を表示させるときに押します。

3 リピート、オートスペースボタン
REPEATボタン：繰り返して演奏するときに押します。
A-Bボタン：指定したAからBまでの区間を繰り返して聞くときに使います。
A.SPACEボタン：曲間に自動的に3秒の空きを入れて演奏します。
M.SCANボタン：自動的に各曲の頭だけを順番に演奏します。

4 CD SYNCHRO操作ボタン
（ソニーのCDプレーヤーの演奏と、ミニディスクレコーダーでの録音を同時に行うことができます。）
STANDBYボタン：STARTボタンを押す前に、ミニディスクレコーダーを録音一時停止状態にするために押します。
STARTボタン：録音を始めるときに押します。
STOPボタン：録音をやめるときに押します。

5 CDプレーヤー操作ボタン
（ソニーのリモコン付きCDプレーヤーのみ操作できます。）
II 一時停止ボタン：演奏中に一時停止します。解除するときはもう一度押します。
停止状態で2度続けて押すと、演奏を始めることができます。
|◀◀ ▶▶|AMSボタン：曲の頭出しをするときに押します。

6 基本操作ボタン
▶再生ボタン：ミニディスクを演奏するときに押します。
II 一時停止ボタン：演奏または録音を一時的に停止するときに押します。解除するときはもう1度このボタンを押します。
■停止ボタン：演奏、録音を止めるときに押します。
また、プログラム演奏でプログラムした曲を消去したいときも押します。
|◀◀ ▶▶|AMSボタン：曲の頭出しをするときに押します。
◀◀ ▶▶ SERCHボタン：曲のなかの聞きたいところを探すときに押します。
●録音ボタン：録音するときに押します。録音中に自分で曲番を記録するときも、このボタンを使います。

7 文字・数字入力ボタン
アルファベット／数字ボタン：ダイレクト選曲、プログラム演奏のときの曲番の入力に使います。また、タイトル作成のときのアルファベットの入力にも使います。
WRITE/CAPS、NUMボタン：タイトル作成のときの入力モードの切り換えのときに押します。
WRITE/NAMEボタン：タイトル入力をするときに押します。
CLEARボタン：プログラムやタイトルを訂正するときに押します。

8 プレイモードボタン
演奏方法を選択するときに押します。

9 表示ボタン
DISPLAYボタン：押すと、演奏中の曲名や残りの演奏時間を表示します。
SCROLLボタン：13文字以上のタイトルを文字送りするときに押します。文字送りを一時止めることもできます。

接続する

接続の方法は、接続するコンポーネントシステムの種類によって次の4とおりがあります。それぞれの接続の方法は、次ページから説明しています。

・デジタル出力端子付きpixyの場合
・デジタル出力端子の付いていないpixyの場合
・デジタル出力端子付きオーディオコンポの場合
・デジタル出力端子の付いていないオーディオコンポの場合

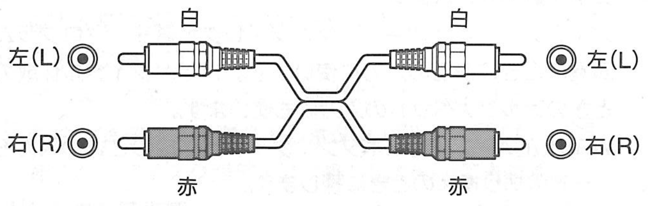
接続するときのご注意

電源について

・接続するときは、機器の電源スイッチを必ず切ってください。

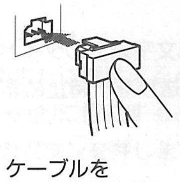
ピンプラグ付き音声信号用接続コードについて

・赤いプラグは右チャンネル（R）へ、白いプラグは左チャンネル（L）へつなぎます。
接続コードが足りない場合はRK-315（別売り）をお買い求めください。



・プラグはしっかり差し込んでください。
（不完全な接続は雑音の原因になります。）
・コードを抜くときはプラグを持って抜いてください。

オーディオバスケーブルのつなぎかた



ケーブルを
しっかり差し込む。

オーディオバスケーブルでソニーのオーディオミニコンポ“pixy”とつないだときは、本機のスタンバイ時には時計表示はされません。pixyの時計表示を確認してください。

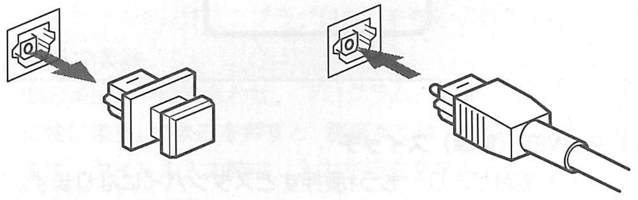
タイマー録音について

タイマー録音は、ソニーのオーディオミニコンポ“pixy”シリーズの一部と接続した場合のみ可能です。
タイマー録音が可能な機種：MHC-J970EX
MHC-J770
MHC-J570Cなど
別売りのタイマーでは、タイマー録音することができません。
タイマー録音のしかたは、pixyの取扱説明書をご覧ください。

光デジタル入出力端子について

DATデッキ（サンプリング周波数44.1kHz対応のもの）、光デジタル入力（DIGITAL IN）付きアンプ、DAコンバーターユニットなどと接続します。接続の際には、オーディオ用光伝送ケーブルPOC-15A（別売り）をお使いください。

オーディオ用光伝送ケーブルのつなぎかた



端子から
キャップをとる。

ケーブルを
しっかり差し込む。

出力レベルは固定されています。

デジタル録音をおすすめします

接続する相手にデジタル端子がついている場合は、デジタル入力／出力の接続をしてください。
録音レベルを調節する必要がありません。

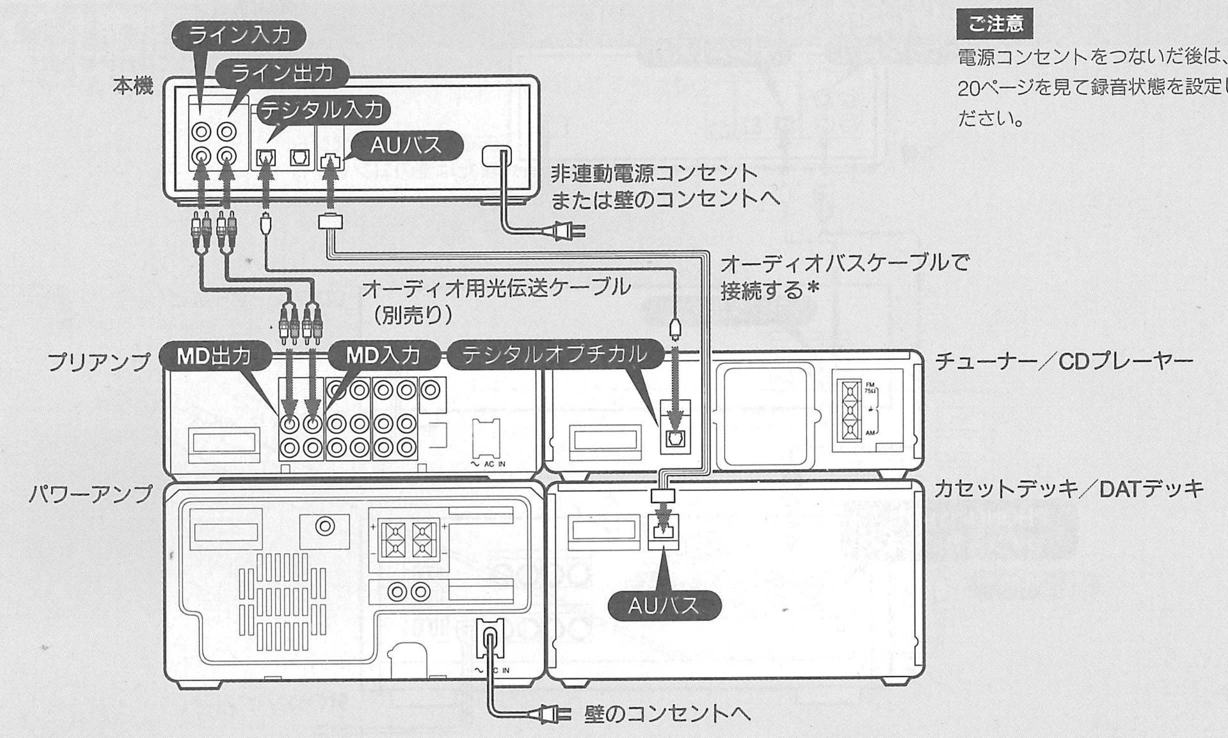
デジタル入力端子につないでもデジタル録音できないものがあります

ミニディスク（MD）のサンプリング周波数（44.1kHz）と異なるものは、デジタル録音できません。
録音できないもの…DAT（32kHz、48kHz）、衛星放送（32kHz、48kHz）など
録音できるもの……CD、MDソフト、DAT（44.1kHzのみ）など
録音できない場合は、デジタル入力端子が入っていないときと同じように、「Din Unlock」表示が出ます。このときは、ライン入力端子につないでアナログ録音してください。

つづく

pixy（ピクシー）に接続する

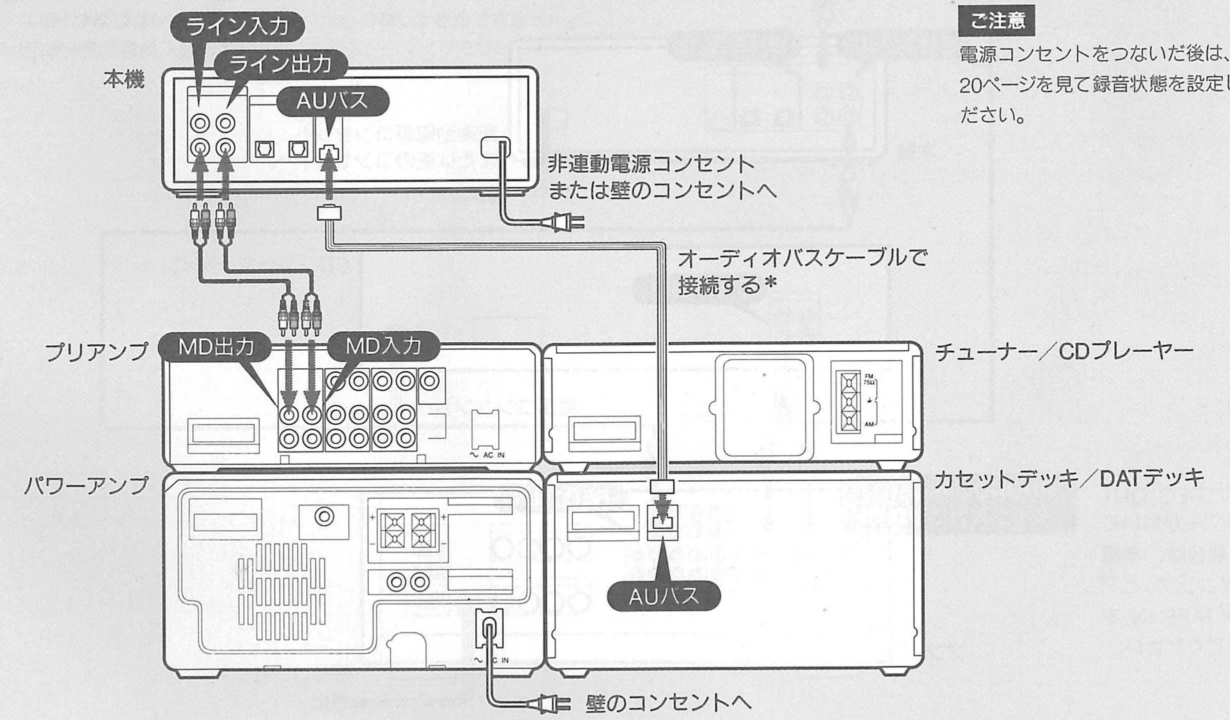
デジタル出力端子付きpixyの場合——デジタル録音用



ご注意
電源コンセントをつないだ後は、必ず20ページを見て録音状態を設定してください。

＊MHC-J970EX/J770/J570Cなどでは、電源ON/OFF、オートファンクション、シンクロ録音、タイマー録音の機能が使えます。
その他の機種では使えない機能もあります。

デジタル出力端子の付いていないpixyの場合—アナログ録音用



ご注意
電源コンセントをつないだ後は、必ず20ページを見て録音状態を設定してください。

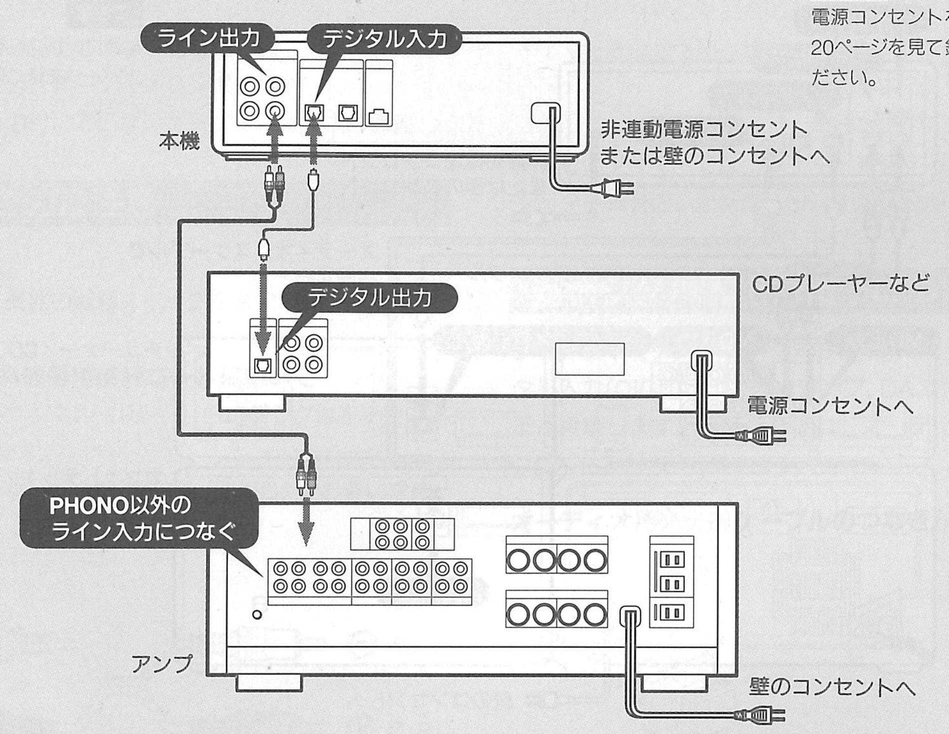
＊MHC-J970EX/J770/J570Cなどでは、電源ON/OFF、オートファンクション、シンクロ録音、タイマー録音の機能が使えます。
その他の機種では使えない機能もあります。

他のオーディオコンポに接続する

デジタル出力端子付きオーディオコンポの場合――デジタル録音用

ご注意

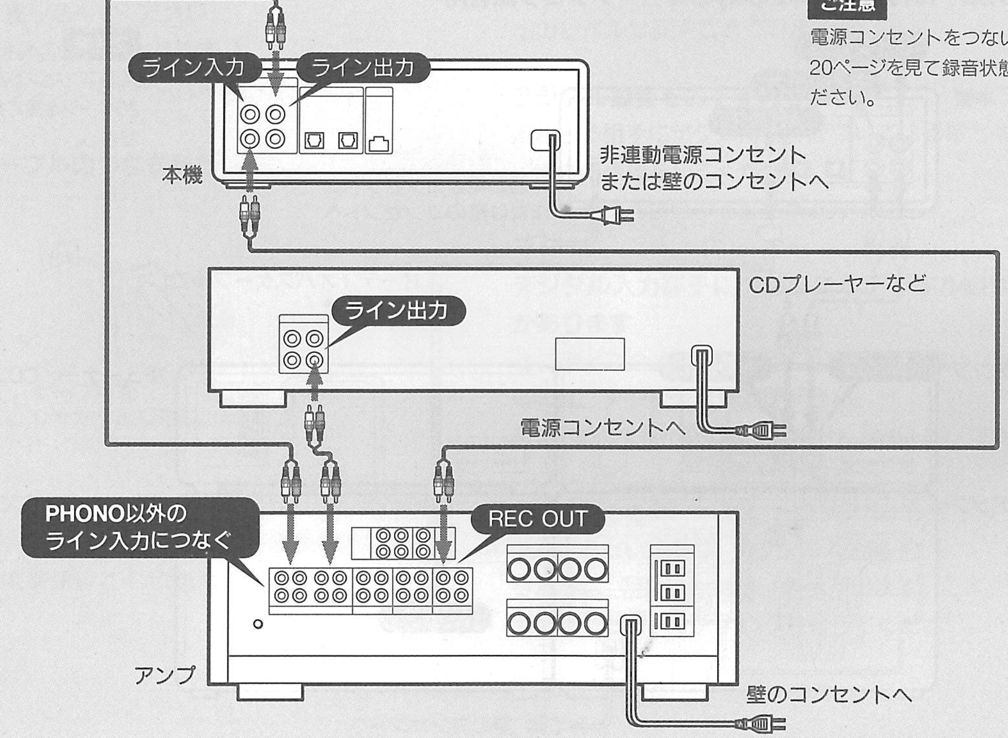
電源コンセントをつないだ後は、必ず20ページを見て録音状態を設定してください。



デジタル出力端子の付いていないオーディオコンポの場合――アナログ録音用

ご注意

電源コンセントをつないだ後は、必ず20ページを見て録音状態を設定してください。



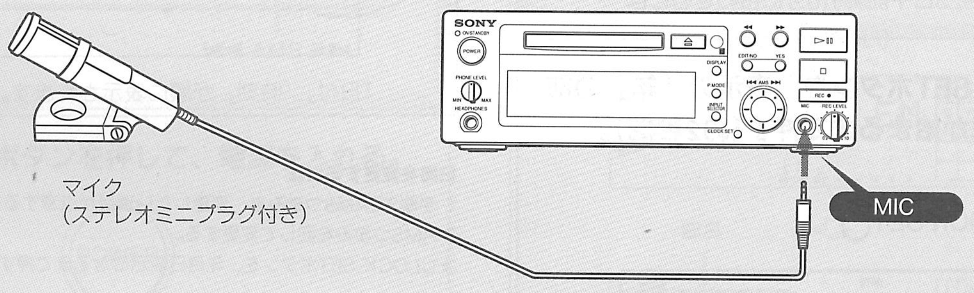
アンプにREC OUTセレクターが付いていない場合は、本機の「ライン出力」とアンプの「TAPE IN」をつないでください。

デジタル入力端子付きアンプ、DATデッキやもう1台ミニディスクレコーダーをつなぐとき

本機のデジタル出力端子とつないでください。

マイクを接続する

マイクから音を録音するときは下図のようにマイクを接続してください。



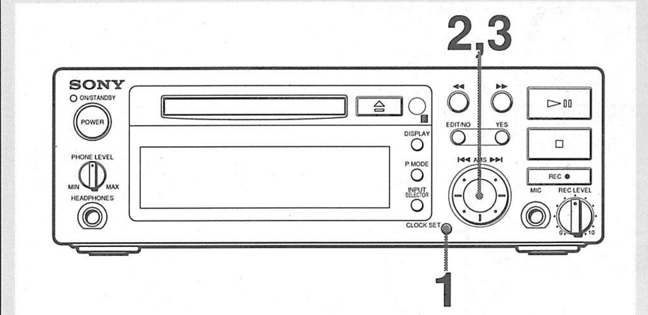
ご注意

MIC端子にマイクをつないでいると、マイクからの音しか録音できません。

マイクをお使いにならないときは、必ずMIC端子からマイクを抜いておいてください。

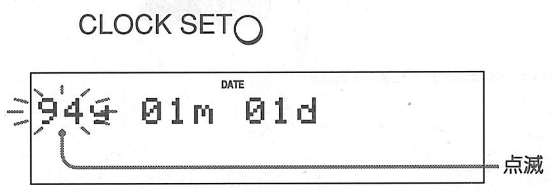
時計を合わせる

本機には時計が内蔵されています。あらかじめ日付と時刻を合わせておけば、録音日時がディスクに記録され、ディスクを演奏するときに録音日時を確認できます。より正確に日時を記録したいときは、週に1度の割合で時計を合わせてください。



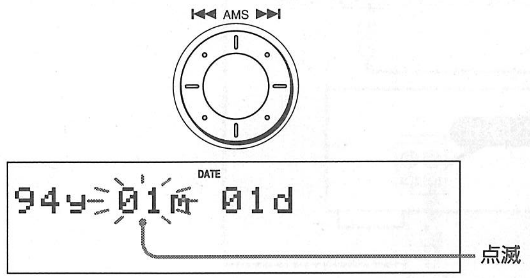
例：1994年4月23日午前9時10分に合わせるには

1 **CLOCK SETボタンを、表示の「年」の部分が点滅が始まるまで押す（約2秒間）。**

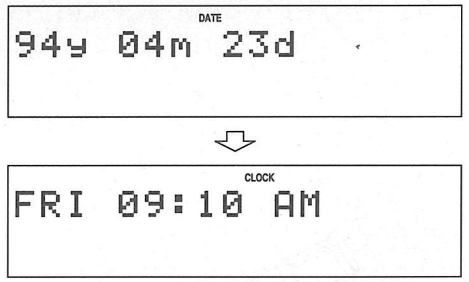


2 **AMSつまみを回して、「年」、「月」、「日」、「時」、「分」の順に合わせる。**

「年」、「月」、「日」、「時」のそれぞれを合わせるたびにAMSつまみを押します。



3 **「分」を合わせたあと、電話の時報サービスなどと同時にAMSつまみを押す。**



「日付」「時刻」が順に表示されます。

日時を変更するには

1 手順2でAMSつまみを、変更したい項目が点滅するまで押す。
2 AMSつまみを回して変更する。
3 CLOCK SETボタンを、年月日表示になるまで押す。

日時を確認するには

CLOCK SETボタンを1度押すと年、月、日が表示されます。年月日表示中にもう1度押すと時刻が表示されます。リモコンではDATE PRESENTボタンを押すと、年月日が表示されたあと、時刻が表示されます。

POWER OFF時の表示を変えるには

DISPLAYボタンを押す。何も表示しない状態か時計表示かを選べます。

コンセントを抜いたままにしておくと

メモリーの内容が消え、「STANDBY」表示が点滅します。このときは、再び設定し直してください。

録音状態を設定していない場合は

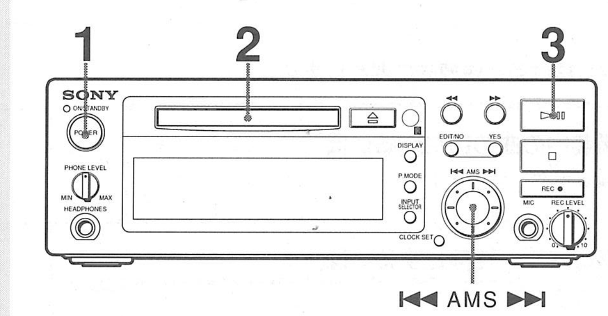
必ず20ページを見て設定してください。

演奏する

つづく

通常の演奏を始めるには、次の2とおりがあります。
・1曲目から聞く
・好きな曲から聞く

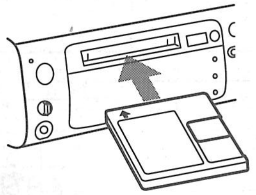
1曲目から聞く



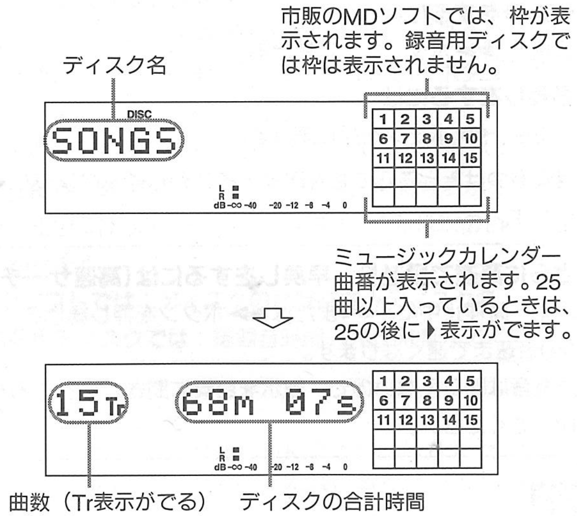
1 **POWERボタンを押して、電源を入れる。**

2 **ディスクを入れる**

電源OFF時にディスクを入れると、自動的に電源が入ります。

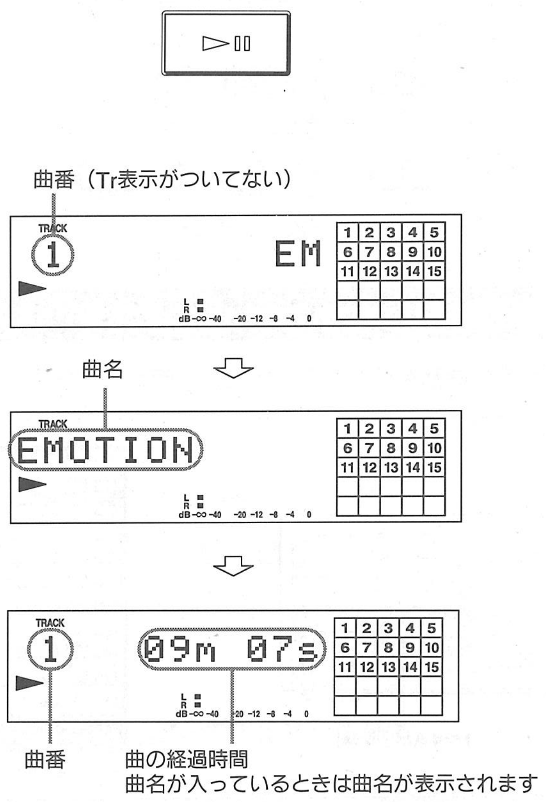


ディスク上面の矢印の向きにしたがって挿入口に差し込む。ディスクは自動的に引き込まれ、表示窓にディスク名、曲数、ディスクの合計時間が順に表示されます。



3 **►❚❚ボタン（►ボタン）またはAMSつまみを押す。**

演奏が始まります。



一時停止するには

►❚❚ボタン（❚❚ボタン）またはAMSつまみを演奏中に1回押す。
一時停止を解除するには、►❚❚ボタン（►または❚❚ボタン）またはAMSつまみをもう1度押す。

停止するには

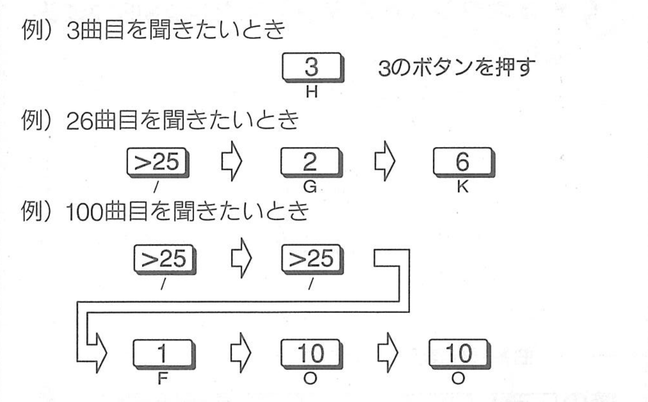
■ボタンを押す。

ディスクを取り出すには

⏏ボタンを押す。

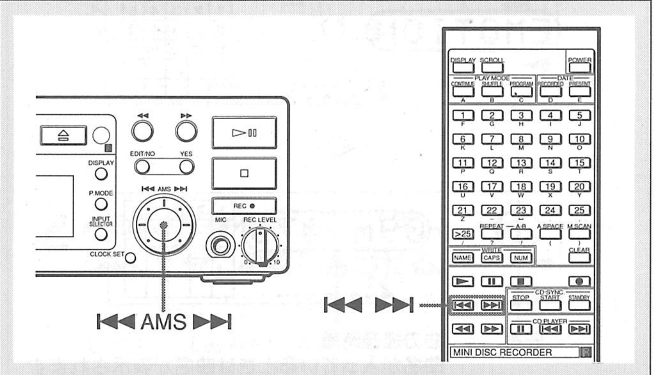
聞きたい曲を直接選ぶ(ダイレクト選曲)

リモコンで、聞きたい曲の曲番を選ぶと、その曲から瞬時に演奏が始まります。



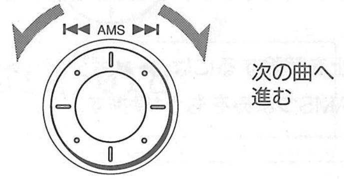
曲の頭出しをする（AMS）

表示窓の曲番を見ながら、頭出しが簡単にできます。



本体で操作する場合

AMSつまみを回す。

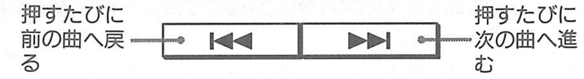


曲の頭で一時停止するには
一時停止中に回す。

ディスクの最後の曲から選ぶには
ディスクを入れて、最初に左へ回す。

リモコンで操作する場合

⏮または⏭ボタンを押す。



押し続けると連続的に変わります。

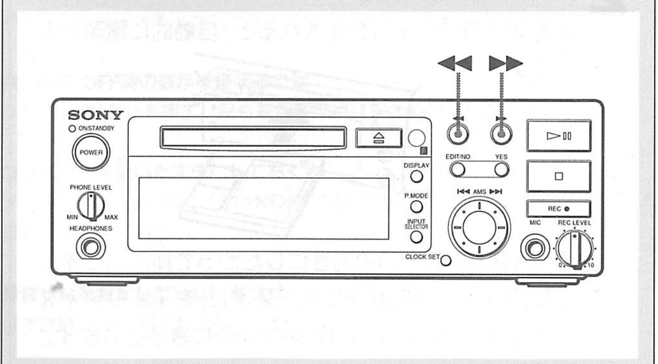
演奏中の曲の頭に戻るには
⏮ボタンを1度押す。

曲の頭で一時停止するには
一時停止中に押す。

ディスクの最後の曲から選ぶには
ディスクを入れて、最初に⏮ボタンを押す。

1曲のなかで聞きたいところを探す(サーチ)

演奏音を聞きながら、早送り、早戻しができます。曲のなかの聞きたいところを探すのに便利です。



早送りをするには
演奏中、⏩ボタンを押し続ける。

早戻しをするには
演奏中、⏪ボタンを押し続ける。

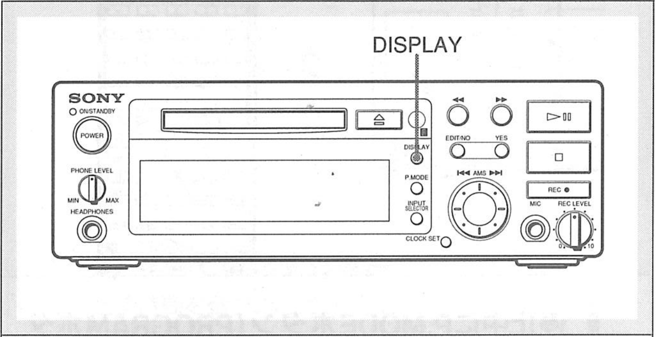
目安をつけたところで指を離すとそこから通常の演奏に戻ります。

さらに高速で早送り、早戻しをするには(高速サーチ)
演奏一時停止中に、⏪または⏩ボタンを押し続ける。
160倍速まで速くなります。
演奏音は聞こえないので、表示を目安に聞きたいところを探してください。

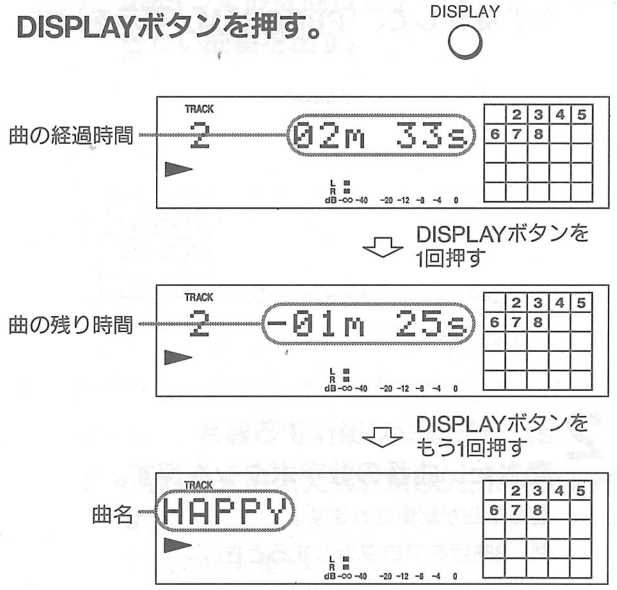
ご注意
数秒の曲が連続している場合、正常にサーチできないことがあります。

演奏中の曲名や残り時間を確かめる

ディスクに記録された曲名や残り時間を、演奏中に見ることができます。曲名が入っていないディスクでは、曲名は表示されません。ディスク名、曲名を付けるには、「曲名やディスク名を付ける(TITLE機能)」(39ページ)をご覧ください。



DISPLAYボタンを押す。



- 13文字以上の曲名の全文字を見たいときは、リモコンのSCROLLボタンを押す。
  スクロール中にSCROLLボタンを押すと、スクロールを止めることができます。もう一度SCROLLボタンを押すと、再度スクロールします。
- 曲名表示を選んで曲名が入っていないときは、いったん「No Name」が表示され、その後、経過時間が表示されます。
- 停止中にDISPLAYボタンを押すと、表示は次のようにかわります。

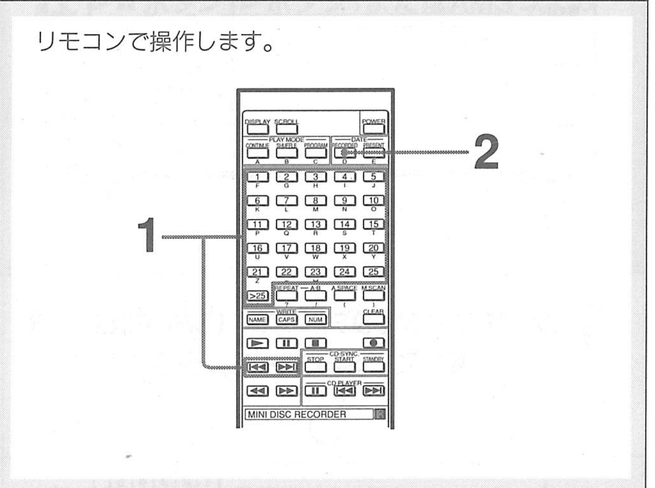
MDソフトでは：ディスクの合計時間→ディスク名
録音用ディスクでは：総録音時間→残り時間→ディスク名

[文字情報 英語] マークについて
市販の録音済みミニディスク(MDソフト)にこのマークがついているときは、そのディスクにすでに入っているディスク名、曲名といった文字情報が表示されます。

録音日時を確認する

内蔵の時計を合わせておけば、録音した時の日付と時刻がディスク上に記録されています。後から演奏するときに、これらの情報を表示窓に表示させて確認することができます。

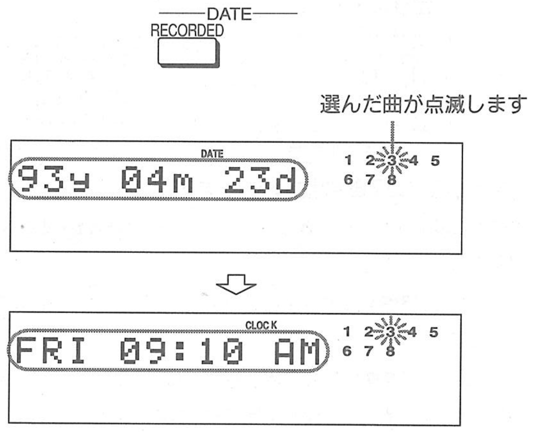
リモコンで操作します。



1 曲を選ぶ
停止中は、⏮または⏭ボタンで選ぶ。

演奏中、演奏一時停止中は、数字ボタンか⏮または⏭ボタンで選ぶ。

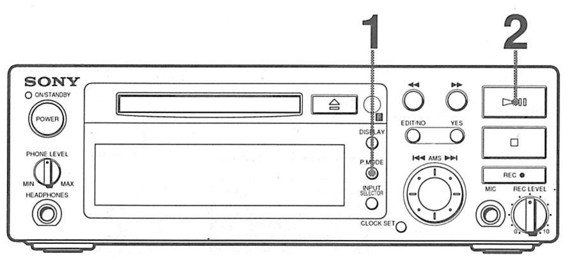
2 DATE RECORDEDボタンを押す。



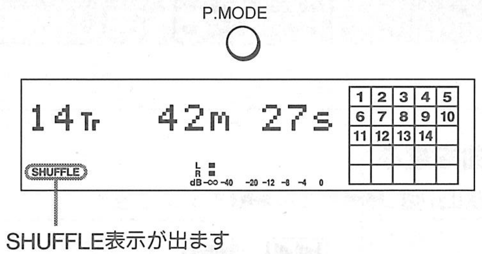
内蔵の時計を合わせていないときや、録音日時がディスク上に記録されない機器で録音した曲の場合は「No Date」が表示されます。
録音日時は、もう1度DATE/RECORDEDボタンを押すか、数秒経過するともとの表示に戻ります。

順序不同に聞く（SHUFFLE演奏）

ディスクの全曲を順序不同に並べかえて（シャッフル）、1回ずつ演奏します。

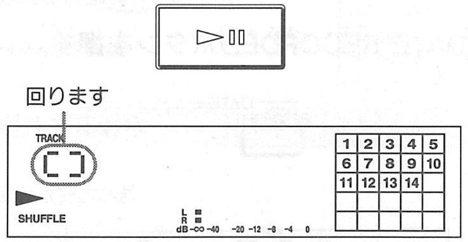


1 停止中にP.MODEボタン（SHUFFLEボタン）を押して「SHUFFLE」表示を出す。



2 ►II ボタン（►ボタン）を押す。

シャッフル演奏が始まります。



シャッフル演奏中に頭出しするには

AMSつまみを回す。またはリモコンの |◄◄ ►►| ボタンを押す。

右に回す（►►|を押す）と、次の曲をシャッフルして演奏します。

左に回す（|◄◄を押す）と、演奏中の頭に戻って演奏します。すでに演奏し終わった曲には戻りません。

シャッフル演奏を停止するには

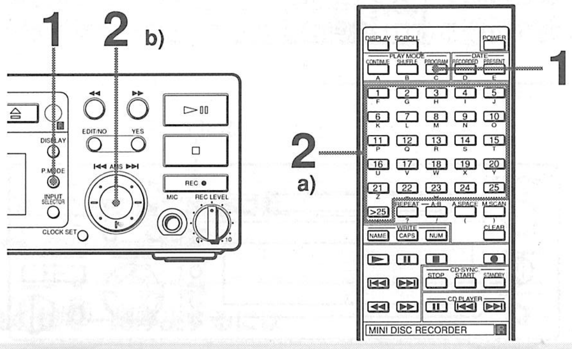
■ボタンを押す。

シャッフル演奏を解除するには

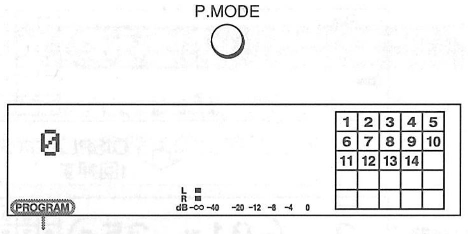
停止中にP.MODEボタン（CONTINUEボタン）を押して、「SHUFFLE」表示を消す。

聞きたい曲を好きな順に聞く（PROGRAM演奏）

聞きたい曲を選び、好きな順序で記憶させて演奏します。「プログラム」とは、曲の順序を記憶させることです。



1 停止中にP.MODEボタン（PROGRAMボタン）を押して、「PROGRAM」表示を出す。



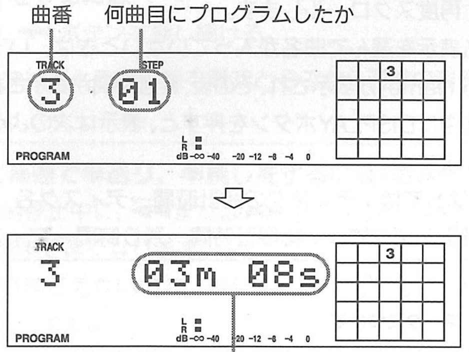
2 a) リモコンで操作する場合

聞きたい曲番の数字ボタンを押す。

選んだ曲が記憶されます。

例）3曲目をプログラムするとき

3 3のボタンを押す。



26番目以上の曲を入れるときは、>25ボタンを1回、100番目以上の曲を入れるときは2回押し、数字ボタンを押す。

例）26曲目をプログラムするとき

>25 ⇨ 2 ⇨ 6

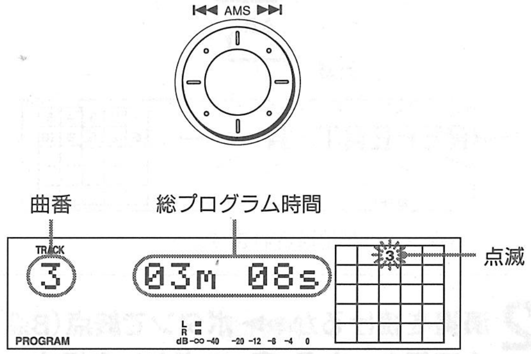
例）100曲目をプログラムするとき

>25 ⇨ >25 ⇨ 1 ⇨ 10 ⇨ 10

b) 本体で操作する場合

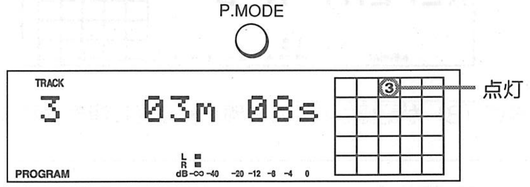
合計時間を確かめながらプログラムできます。

1 AMSつまみを回してディスプレイに聞きたい曲番を出す。



2 AMSつまみまたはP.MODEボタンを押す。

選んだ曲が記憶されます。

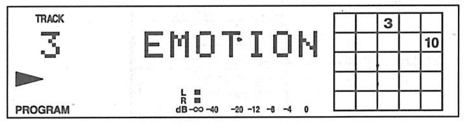


3 手順2を繰り返して、聞きたい曲を順に記憶させる。

曲を記憶させるごとに、合計時間が表示されます。最大25曲までプログラムできます。

4 ►II ボタン（►ボタン）またはAMSつまみを押す。

最初に記憶させた曲から演奏が始まります。



プログラムの内容を確認するには

演奏、演奏一時停止中にAMSつまみを回す。またはリモコンの |◄◄ ►►| ボタンを押す。

プログラムした順に曲が表示されます。

プログラムの曲を取り消すには

停止中にリモコンのCLEARボタンを押す。押すごとに、プログラムの最後の曲から取り消されます。

プログラム演奏を停止するには

■ボタンを押す。

プログラム演奏を解除するには

P.MODEボタン（CONTINUEボタン）を押して「PROGRAM」表示を消す。

プログラムを変更するには

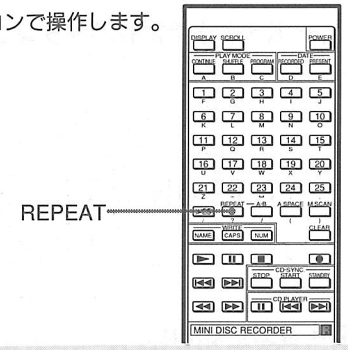
- 今設定したプログラムを変更するには
  リモコンのCLEARボタンを押して、取り消された曲のところで、手順2以降の操作をする。
- プログラムの設定を最初からやり直すには
  停止中に■ボタンを押す。プログラムが全部消えます。次に、手順2以降の操作をする。

繰り返し聞く（REPEAT演奏）

リピート演奏する

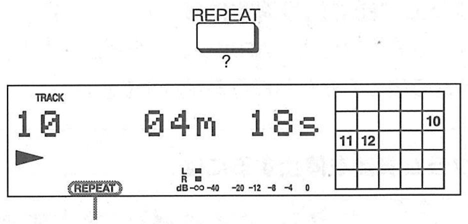
通常の演奏、シャッフル演奏、プログラム演奏をそれぞれ繰り返し演奏することができます。

リモコンで操作します。



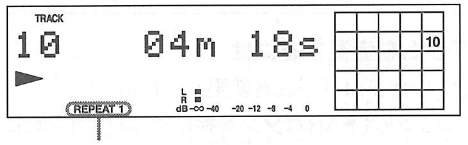
REPEATボタンを押して「REPEAT」表示を出す。

全曲が繰り返し演奏されます。



REPEAT表示が出ます

REPEATボタンを2回押すと、演奏中の1曲が繰り返し演奏されます。



REPEAT 1表示が出ます

シャッフル演奏、プログラム演奏のときにリピート演奏をするには
それぞれの演奏状態のときに、REPEATボタンを押す。

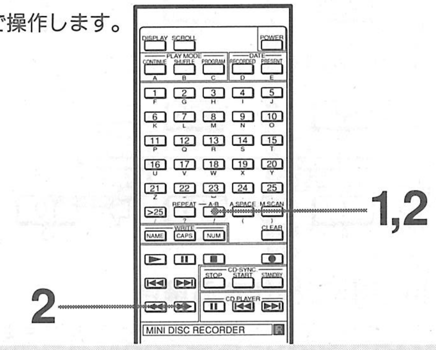
リピート演奏を停止するには
■ボタンを押す。

リピート演奏を解除するには
REPEATボタンを「REPEAT」表示が消えるまで押す。
REPEATボタンを押す前の演奏状態に戻ります。

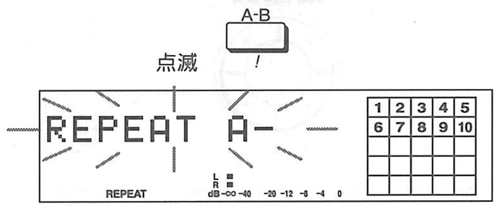
指定した部分を繰り返し聞く—A-Bリピート

1曲のなかで自分で区切った区間を好きなだけ繰り返し聞くことができます。

リモコンで操作します。

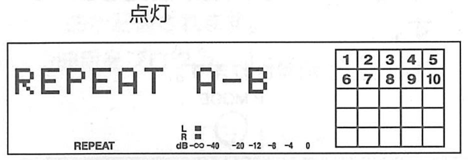


1 演奏中に繰り返したい部分の始点（A点）でA-Bボタンを押す。



始点（A）が記憶されます。

2 演奏を続けるか ▶▶ ボタンで終点（B点）まで行き、もう1度A-Bボタンを押す。



終点（B）が記憶され、A-B間が繰り返し演奏されます。

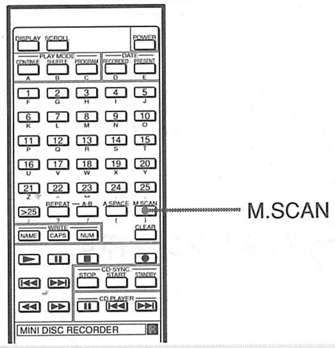
繰り返し部分を進めるには
A-Bボタンを押す。終点（B）が始点（A）に変わります。
次に2と同じように新しい終点（B）を記憶させる。

A-Bリピートを解除するには
REPEATボタンを押して「REPEAT」表示を消す。

各曲の頭を少しずつ聞く（ミュージックスキャン）

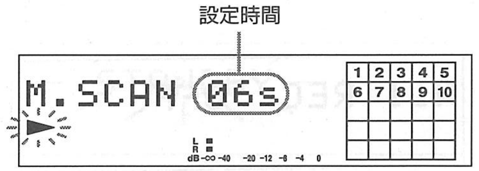
曲の頭だけを3種類の演奏時間から選んで、順番に演奏します。ディスクのプログラムの内容を確かめるときに便利です。

リモコンで操作します。



停止中、M.SCANボタンを押す。

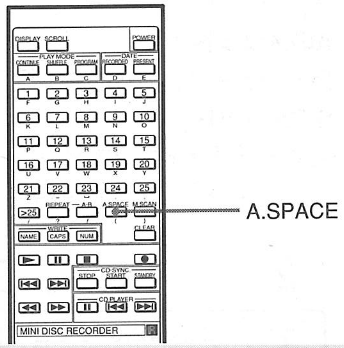
設定時間表示が出ている間に、M.SCANボタンを押すたびに、設定時間が6→10→20秒の順に切り換わります。



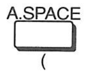
聞きやすい曲間隔にする（オートスペース）

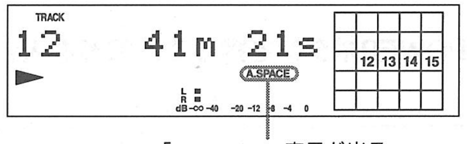
演奏時に、曲と曲の間に3秒の空き（スペース）を入れることができます。曲の頭出しのできるテープを作るときに便利です。

リモコンで操作します。



A.SPACEボタンを1回押す。





「A.SPACE」表示が出る

オートスペースを解除するには
A.SPACEボタンをもう1度押して、「A.SPACE」表示を消す。

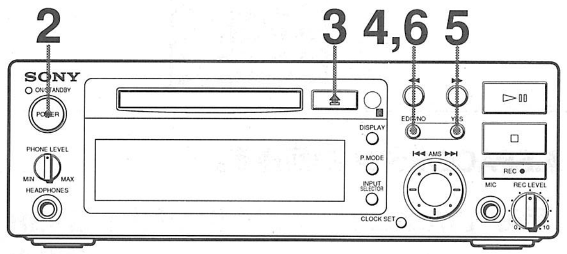
ご注意

シンフォニーなどを聞くとき
シンフォニーなど、曲間のあきがなく曲番号だけ変わるディスクでオートスペースを使用すると、曲番号が変わるところで音が途切れることがあります。

録音状態を設定する

本機の録音状態には以下の2通りがあります。
A.すでに録音されている内容を全て消し、ディスクの始めから録音する。
B.すでに録音されている内容を残して録音する。
初期状態はAになっています。Bにするには必ず以下の設定を行ってください。
この設定は、必ず本機をお使いになる一番初めに行ってください。

Aのメリット
録音済ディスクにすばやく録音し直すことができます。
Bのメリット
前回の録音終了点を頭出ししなくても、続けて録音を追加することができます。



1 **電源コンセントを入れる。**

2 **POWERボタンを押して、電源を入れる。**

3 **ディスクが入っている場合は、　ボタンを押して、ディスクを取り出す。**

4 **EDIT/NOボタンを押す。**

EDIT/NO

Select REC ?

5 **YESボタンを押す。**

YES

All REC ?

6 **EDIT/NOボタンを押す。**

EDIT/NO

All REC OFF

↓

NO DISC

電源を入れたときの表示に戻ります。
これですでに録音されている内容を残して録音するように設定されました。

設定を元に戻すには

手順**6**でYESボタンを押します。
「All REC ON」が表示され、録音時にすでに録音されている内容をすべて消去し、新しい内容をディスクの始めから録音します。

録音状態を設定しないと

- ディスクを入れてすぐに録音を始めると、すでに録音されている内容をすべて消去し、新しい内容を録音します。
- いったん演奏または録音したあと、ディスクを入れたまま録音すると、すでに録音されているもののあとへ録音します。ただし、いったんディスクを取り出すと、設定していない（録音されているものをすべて消し、ディスクの始めから録音する）状態に戻ります。

録音状態を設定したあと、ディスクの内容を消して録音するには

「ディスクの中のすべての曲を消す」（33ページ）の手順でディスクの中身を消してから録音してください。

ご注意
- コンセントを抜いたままにしておくと、メモリーの内容が消え、「STANDBY」表示が点滅します。このときは、再び設定し直してください。

— STANDBY —

- 録音状態の設定は、必ずディスクを取り出してから行ってください。

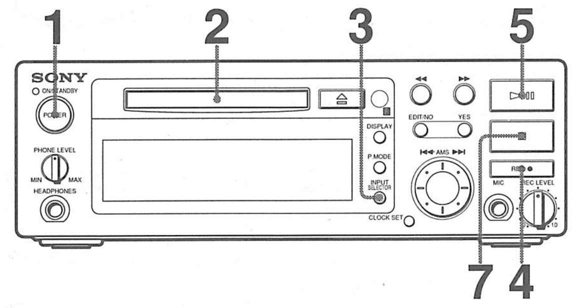
デジタル入力端子につないで録音する

録音の方法は、接続のしかたによって、デジタル録音、アナログ録音、マイク録音、CDシンクロ録音の4とおりがあります。

録音する（デジタル録音）

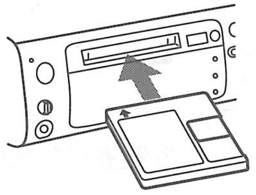
録音レベルの調節は不要です。
CDからのデジタル録音では、曲番も自動的に記録されます。CD以外のソース機器での曲番の記録については、「曲番を記録する（トラックマーキング）」（27ページ）をご覧ください。

- **録音状態を設定していない場合、ディスクを入れてすぐに録音を始めると、すでに録音されている内容がすべて消えます（録音状態の設定のしかたは20ページ参照）。**
- 録音状態を設定しておくと、すでに録音されている内容のあとへ自動的に録音されるので、テープのように頭出しをする必要がありません。



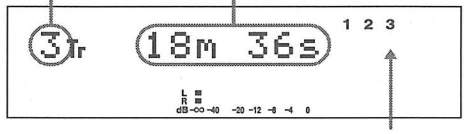
1 POWERボタンを押して、電源を入れる。

2 録音用ミニディスクを入れる。



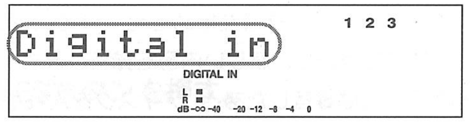
ディスク上面の矢印の向きにして、挿入口へ差し込む。
あとは自動的に引き込まれます。

すでに録音した総曲数　総録音時間（分、秒）



録音用ディスクでは
枠は表示されません

3 INPUT SELECTORボタンを押して、ディスプレイに「Digital in」を出す。

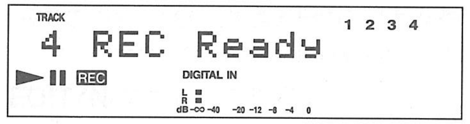


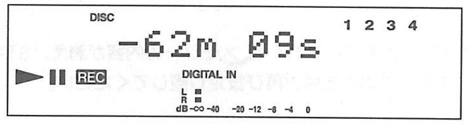
表示は数秒で元に戻ります。

4 REC●ボタン（●ボタン）を押す。

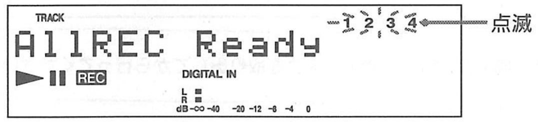
録音一時停止になります。

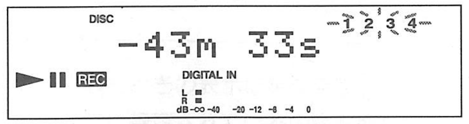
- 録音状態を設定していると、下のような表示が残り時間表示と交互に出ます。



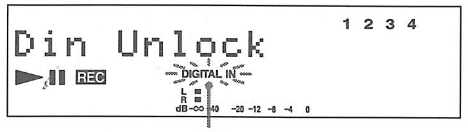


- 録音状態を設定していないと、「ALL REC」表示のあとに下のような表示が残り時間表示と交互に出ます。



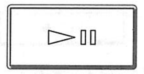


デジタル入力端子がつながれていないときは下のような表示が出ます。

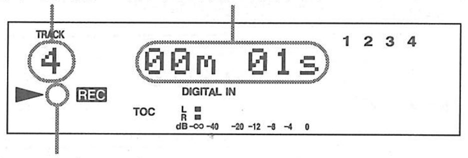


録音一時停止状態のままにしておくと、約10分後に自動的に解除されます。

5 ►❚❚ボタン（►または❚❚ボタン）を押す。



録音中の曲番　録音中の曲の録音された時間（分、秒）

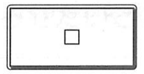


「❚❚」が消えます

一時停止が解除され録音が始まります。

6 他機（CDプレーヤーなど）で演奏を始める。

7 録音を終わらせたいところで、■ ボタンを押す。



録音が停止します。

ディスクの残り時間を確かめるには

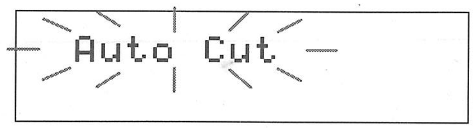
DISPLAYボタンを押す。
停止中：押すたびに、総録音時間→残り時間→ディスク名と表示が切り換わります。
録音中：押すと、残り時間が表示されます。

録音を一時停止するには

►❚❚ボタン（❚❚ボタン）を押す。
録音に戻すときは、もう1度►❚❚ボタン（►または❚❚ボタン）を押す。
録音を一時停止すると、曲番は変わります。例えば、4曲目として録音中に一時停止した後、再び録音を再開すると、今度は5曲目として記録されます。

無音部分が20秒続くと

録音が自動的に止まります。そのとき、曲間の2秒を残して、あとの18秒は自動的に消えます。
消しているときは、以下の表示が出ます。

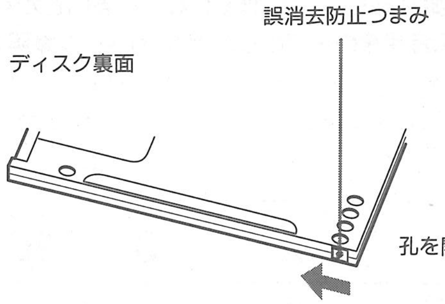


録音中または録音一時停止中にINPUT SELECTORボタンを押すと
曲番を記録する方法を選択できます。詳しくは、「曲番を記録する（トラックマーキング）」（27ページ）をご覧ください。

停止中にINPUT SELECTORボタンを押すと
録音する入力信号（Digital inまたはAnalog in）を選択できます。

録音した内容を誤って消さないために

ディスクの誤消去防止つまみをずらして孔を開いた状態にします。録音した内容が保護され、新しく録音できなくなります。再び録音するときはつまみをもとに戻します。



ご注意

デジタル入力端子につないで録音したディスクをさらにデジタル録音することはできません。
シリアルコピーマネージメントシステムに準拠しています。（48ページ参照）

「Protected」表示が出たら
ディスクが誤消去防止されています。誤消去防止つまみをずらして孔を閉じた状態にすれば録音できます。

ディスプレイの「TOC」が点滅中は?
録音した内容を記録しているので、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

デジタル録音のときは
エンファシス（高域強調）信号が変われば、曲番も自動的に変わります。

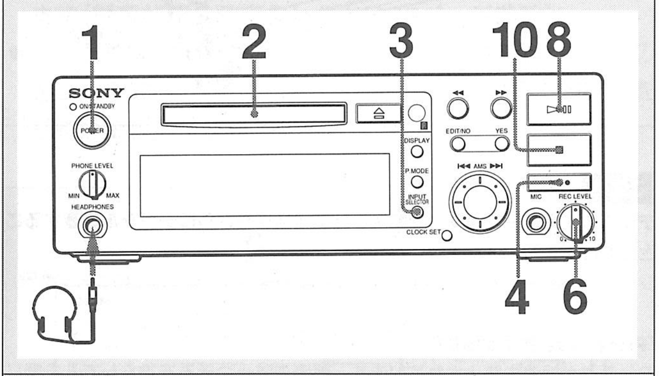
ミニディスクどうしのデジタル録音では
曲番は自動的に記録されます。ただし、同じ曲を続けてプログラムしたり、1曲リピートをした場合は、曲番は変わりません。
また、4秒以下の内容は1曲として認めません。

ライン入力端子につないで録音する

録音する（アナログ録音）

曲番の記録については、「曲番を記録する（トラックマーキング）」（27ページ）をご覧ください。

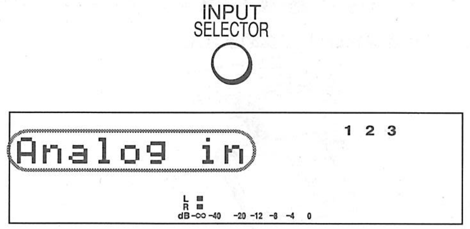
- **録音状態を設定していない場合、ディスクを入れてすぐに録音を始めると、すでに録音されている内容がすべて消えます（録音状態の設定のしかたは20ページ参照）。**
- 録音状態を設定しておくと、すでに録音されている内容のあとへ自動的に録音されるので、テープのように頭出しをする必要がありません。



1 **POWERボタンを押して、電源を入れる。**

2 **録音用ミニディスクを入れる。**

3 **INPUT SELECTORボタンを押してディスプレイに「Analog in」を表示する。**

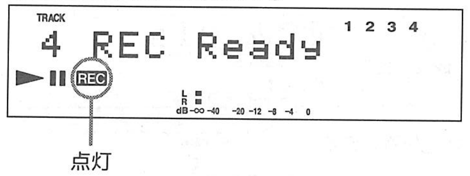


表示は数秒で元に戻ります。

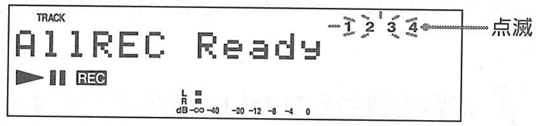
4 **REC●ボタン（●ボタン）を押す。**

録音一時停止状態になります。

- 録音状態を設定していると、下のような表示が残り時間表示と交互に出ます。



- 録音状態を設定していないと、「ALL REC」表示のあとに下のような表示が残り時間表示と交互に出ます。



録音一時停止状態のままにしておくと、約10分後に自動的に解除されます。

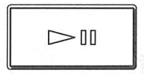
5 **他機（CDプレーヤー、カセットデッキなど）で録音したい音を出す。**

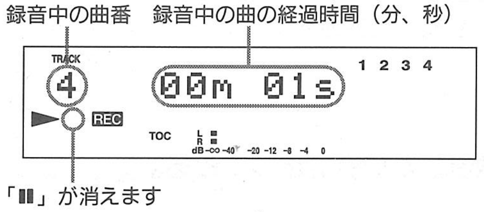
6 **REC LEVELつまみを回して、ヘッドホンでモニターしながら録音レベルを調節する。**
（25ページ）

ソニーのDATデッキ、CDプレーヤー、カセットデッキから録音するときはこの位置で、ほぼ適正となります。

7 **他機をいったん停止する。**

8 **▶▶| ボタン（▶または❚❚ボタン）を押す。**

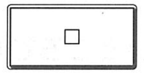




一時停止が解除され、録音が始まります。

9 **他機で演奏を始める。**

10 **録音を終わらせたいところで、■ボタンを押す。**



ディスクの残り時間を確かめるには
23ページを参照してください。

録音を一時停止するには
▶❚❚ボタン（❚❚ボタン）を押す。
録音を再開するには、もう1度▶❚❚ボタン（▶または❚❚ボタン）を押す。
録音を一時停止すると、曲番は変わります。

ディスクを取り出すには
EJECT⏏ボタンを押す。

録音中にINPUT SELECTORボタンを押すと
曲番を記録する方法を選択できます。詳しくは、「曲番を記録する（トラックマーキング）」（27ページ）をご覧ください。

停止中にINPUT SELECTORボタンを押すと
録音する入力信号（Digital inまたはAnalog in）を選択できます。

ご注意

「Protected」表示が出たら
ディスクが誤消去防止されています。誤消去防止つまみをずらして孔を閉じた状態にすれば録音できます。

ディスプレイの「TOC」が点滅中は?
録音した内容を記録しているので、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

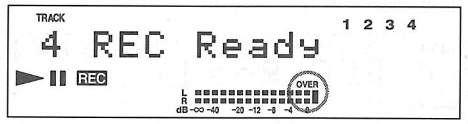
録音レベルを調節する

ライン入力端子につないで録音するときと、マイクをつないで録音するときは、録音レベルを調節します。

1 **REC●ボタンを押して録音一時停止にする。**

2 **他機で録音したい音を出す。**

3 **REC LEVELつまみを回して、ヘッドホンでモニターしながら、一番大きい音のときディスプレイのピークレベルメーターの赤（OVER）が点灯しないように合わせる。（時々、点灯する程度なら、実用上、問題ありません）**

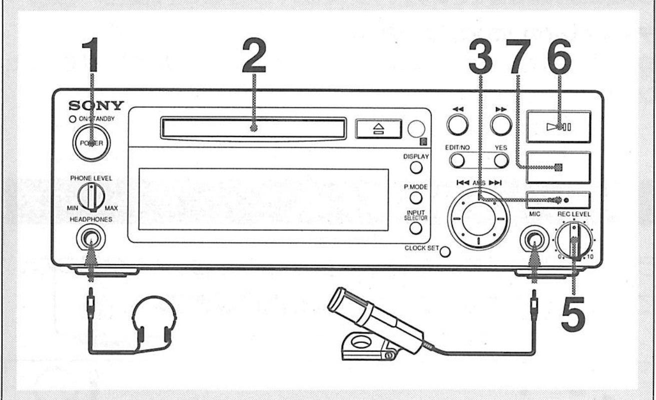


4 **▶❚❚ボタン（▶または❚❚ボタン）を押して、録音を開始する。**

マイクをつないで録音する

マイク（ステレオミニプラグ付き）をつないで、外部の音を録音することができます。
入力は自動的に「Analog in」が選ばれます。
曲番の記録については、「曲番を記録する（トラックマーキング）」（27ページ）をご覧ください。

- **録音状態を設定していない場合、ディスクを入れてすぐに録音を始めると、すでに録音されている内容がすべて消えます（録音状態の設定のしかたは20ページ参照）。**
- 録音状態を設定しておくと、すでに録音されている内容のあとへ自動的に録音されるので、テープのように頭出しをする必要がありません。



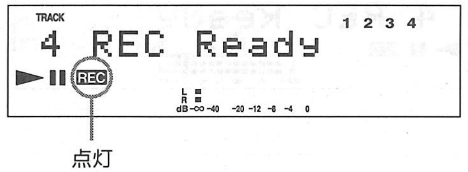
1 POWERボタンを押して、電源を入れる。

2 録音用ミニディスクを入れる。

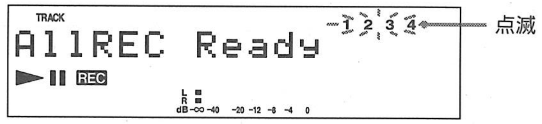
3 REC●ボタン（●ボタン）を押す。

録音一時停止になります。

- 録音状態を設定していると、下のような表示が残り時間表示と交互に出ます。



- 録音状態を設定していないと、「ALL REC」表示のあとに下のような表示が残り時間表示と交互に出ます。



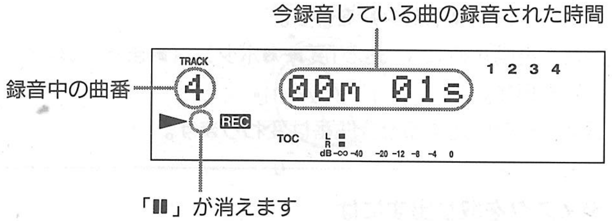
録音一時停止状態のままにしておくと、約10分後に自動的に解除されます。

4 録音したい音を出してみる。

5 REC LEVELつまみを回して、ヘッドホンでモニターしながら録音レベルを調節する。
（25ページ）

6 録音を始めたいところで▶IIボタン（▶またはIIボタン）を押す。

録音が始まります。



7 録音を終わらせたいところで、■ボタンを押す。

ディスクの残り時間を確かめるには
23ページを参照してください。

録音を一時停止するには
▶IIボタン（IIボタン）を押す。
録音を再開するときは、もう1度▶IIボタン（▶またはIIボタン）を押す。
録音を一時停止すると、曲番は変わります。

ディスクを取り出すには
EJECT⏏ボタンを押す。

録音中にINPUT SELECTORボタンを押すと
曲番を記録する方法を選択できます。詳しくは、「曲番を記録する（トラックマーキング）」をご覧ください。

ご注意
ご使用後は、マイクを抜いてください。
MIC端子にマイクをつなぐと、裏面のライン入力端子が切れるので、マイクからの音しか録音できません。マイクをお使いにならないときは、必ずMIC端子からマイクを抜いておいてください。

トラックマーキングについて
マイク録音の場合、「LevelSync ON」にしておいても、曲番を自動的につけることはできません。

「Protected」表示が出たら
ディスクが誤消去防止されています。誤消去防止つまみをずらして孔を閉じた状態にすれば録音できます。（23ページ参照）

ディスプレイの「TOC」が点滅中は?
録音した内容を記録しているので、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

曲番を記録する（トラックマーキング）

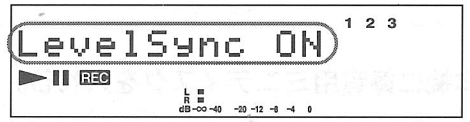
曲番を付けると、演奏時の頭出しをするときに便利です。
演奏時の頭出しのために曲番を記録するには、次の2とおりがあります。

- 自動的に記録させる—録音ソースの無音部分を自動的に感知して記録します。CDからのデジタル録音時は曲番も同時に記録します。
- 自分で記録する—好みの位置で曲番を記録します。記録を一時停止した場合も曲番が記録されます。

録音後に曲番を付けるには
編集操作で曲を分けると、曲番が1番ずつ加算されて記録されます。詳しくは、「曲を分ける（DIVIDE機能）」（34ページ）をご覧ください。

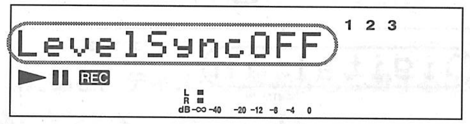
自動的に記録させる

録音、録音一時停止中INPUT SELECTORボタンを押し「LevelSync ON」を出す。



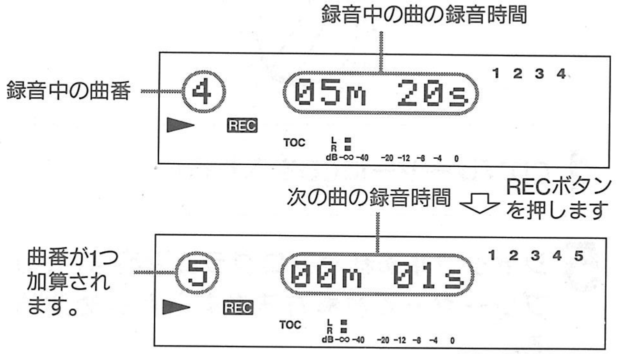
自分で記録する

1 録音、録音一時停止中INPUT SELECTORボタンを押し「LevelSync OFF」を出す。



2 録音中、曲番を変えたいときに、REC●ボタン（●ボタン）を押す。

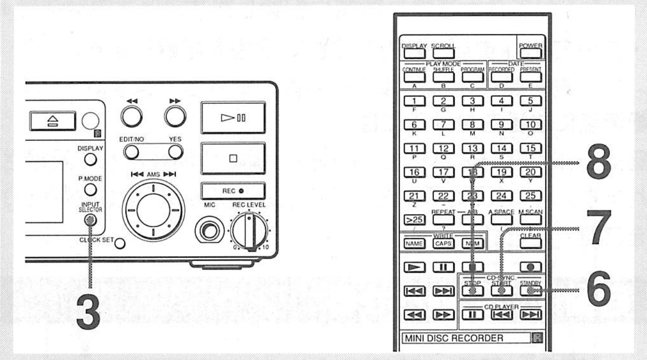
RECボタンを押したところから、次の曲として記録されます。



ご注意
自動的に記録させる場合、トラックマーキングは、曲間の無音部分が2秒以上ないと付けられません。

CDをシンクロ録音する

ソニーのCDプレーヤーやミニコンポシステムpixy MHC-J970EX/J770/J570Cなどと接続すると、本機のリモコンを使うだけで、簡単にCDの音を録音できます。また、別売りのオーディオ用光伝送ケーブルでCDプレーヤーとデジタル接続すると、LevelSyncのON/OFFにかかわらず、曲番が自動的に付きます。**シンクロ録音時は、録音状態の設定の有無にかかわらず、前に録音したもののあとへ自動的に録音されます。**

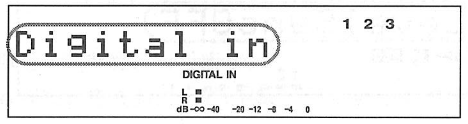


1 **アンプのファンクションをCDに合わせる。**

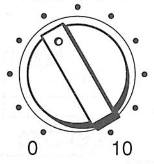
2 **本機に録音用ミニディスクを入れる。**

3 **デジタル録音の場合は、INPUT SERECTORボタンを押して、ディスプレイに「Digital in」を出す。**

INPUT SELECTOR



アナログ録音の場合は、INPUT SELECTORボタンを押して、ディスプレイに「Analog in」を出した後、REC LEVEL調節つまみを下のイラストのように合わせます。



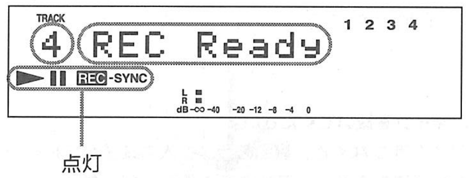
4 **CDプレーヤーにCDを入れる。**

5 **シャッフル演奏やプログラム演奏などCDプレーヤーで演奏方法をあらかじめ決める。**

6 **本機リモコンのCD-SYNC/STANDBYボタンを押す。**

CD-SYNC.
STANDBY

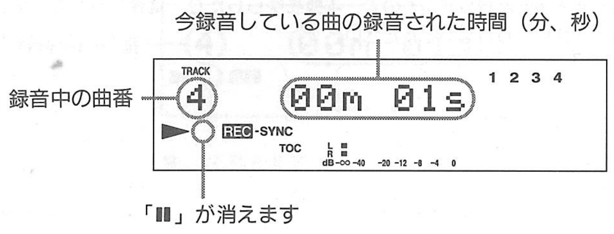
CDプレーヤーが演奏一時停止、本機が録音一時停止になり、下のような表示が残り時間表示と交互に出ます。



録音一時停止状態のままにしておくと、約10分後に自動的に解除されます。

7 **本機リモコンのCD-SYNC/STARTボタンを押す。**

CD-SYNC.
START



本機で録音が始まり、CDプレーヤーで演奏が始まります。

CDプレーヤーの演奏が始まらないときは?
CDプレーヤーの機種によっては、CD-SYNC/STARTボタンを押しても演奏が始まらない場合があります。そのときは、CD PLAYER/▮▮ボタンを押してください。

8 **録音を終わらせたいところで、本機のリモコンのSTOPボタンを押す。**

CD-SYNC.
STOP

録音が停止します。

もう1枚のCDを続けて録音するには
手順8の代わりに、次の操作をする。
1 CDプレーヤーのリモコンの■ボタンを押す。
2 CDを交換する。
3 CDプレーヤーのリモコンの▶ボタンを押す。
再びシンクロ録音が始まります。
pixyの場合は、CDプレーヤーの本体のボタンも使えます。

シンクロ録音を一時停止するには
本機リモコンのCD-SYNC/STANDBYボタンまたはCD PLAYER/▮▮ボタンを押す。
録音に戻すときは、本機リモコンのCD-SYNC/STARTボタンまたはCD PLAYER/▮▮ボタンを押す。
録音を一時停止すると、曲番は変わります。

ディスクの残り時間を確かめるには
23ページを参照してください。

pixyと接続した場合には
デジタル録音、アナログ録音どちらの場合でも、オーディオバス端子をつないでいれば、Level SyncのON/OFFにかかわらず、曲番が自動的につきます。
また、いったんシンクロ録音を始めると、pixy側のCDプレーヤーの停止、一時停止ボタンを押すことにより、本機は、自動的に一時停止になります。

ご注意

CDプレーヤーと本機はできるだけ近くに置いてください。
1つのリモコンでCDプレーヤーと本機の両方を操作するので、離しすぎると誤動作の原因になります。

「Protected」表示が出たら
ディスクが誤消去防止されています。誤消去防止つまみをずらして孔を閉じた状態にすれば録音できます。（23ページ参照）

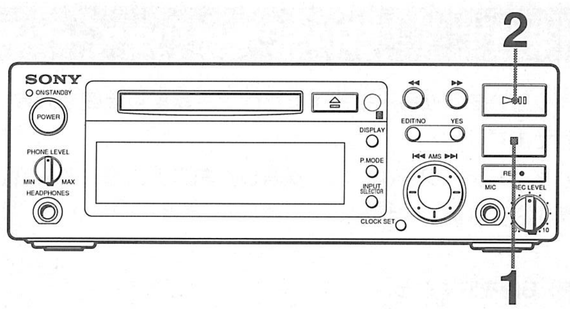
ディスプレイの「TOC」が点滅中は?
録音した内容を記録しているので、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

オーディオバス端子をつないだ場合は
CD以外を録音すると、自動的にアナログ録音に切り換わります。

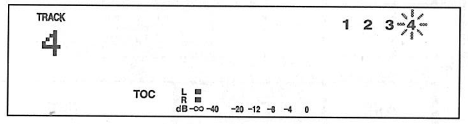
デジタル録音のときは
エンファシス（高域強調）信号が変われば、曲番も自動的に変わります。

録音した曲をすぐ聞くには

曲番を指定しないでも、今録音した曲の最初からすぐ演奏できます。

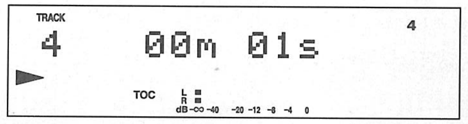


1 **■ボタンを押して録音を止める。**



今、録音した曲の曲番が点灯します。

2 **▶▮▮ボタン（▶ボタン）を押す。**



今回録音を始めた最初の曲から演奏されます。

録音したあと、ディスクの最初から演奏するには
1 ■ボタンを押して録音を止める。
2 もう1度■ボタンを押す。
3 ▶▮▮ボタン（▶または▮▮ボタン）を押す。
ディスクの最初の曲が演奏されます。

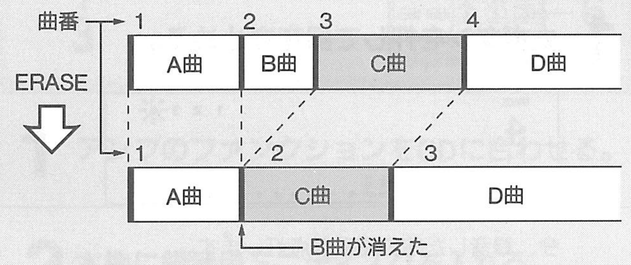
編集機能の使いかた

編集機能では録音したディスクの好きなところで頭出しができるように曲を途中から分けたり、連続した2つの曲をつないだりして録音後の手直しができます。さらに、曲番を指定するだけで曲をまるごと消したり、ディスクや曲に名前を付けたりすることもできます。

曲を消す――ERASE機能（32ページ）

消したい曲の曲番を指定するだけで、録音した曲を簡単に消せます。
カセットテープのように、録音した曲の上に重ねて録音し直す必要はありません。

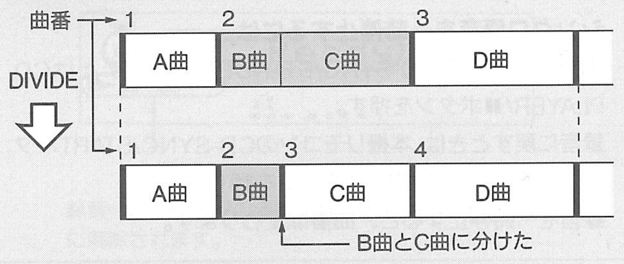
例）B曲を消すとき



曲を分ける――DIVIDE機能（34ページ）

1曲を途中から2つの曲に分けます。
ライン入力端子またはマイクから録音したとき、それぞれの曲を頭出しするため、録音後に手動で曲を分けたり、デジタル入力端子から録音したものを、好きなところで頭出ししたいときなどにお使いください。

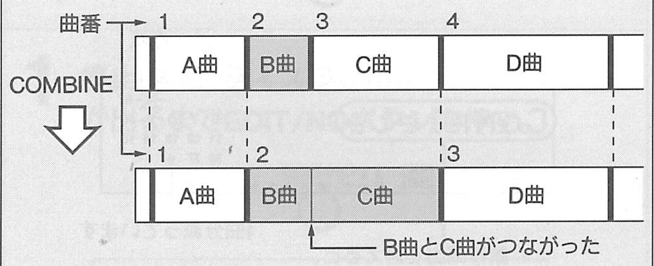
例）2曲めをB曲とC曲の2つに分けるとき



曲をつなぐ――COMBINE機能（36ページ）

連続した2つの曲をつないで1曲にまとめます。
いくつかの曲を続けて聞けるようにしたり、何度も停止してコマ切れで録音したものをひとつにまとめたりするときなどにお使いください。

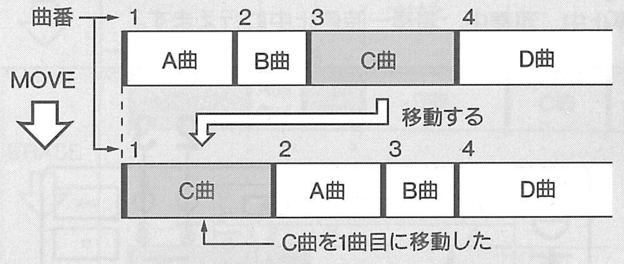
例）B曲とC曲をつなぐとき



曲を移動する――MOVE機能（38ページ）

ある曲を好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。

例）C曲を1曲目に移動するとき



曲名やディスク名をつける――TITLE機能（39ページ）

録音したディスクにディスク名を、それぞれの曲に曲名をつけられます。

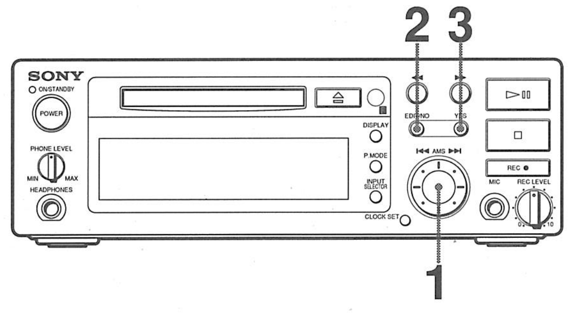
曲を消す（ERASE機能）

録音したディスクを消去するには、次の3とおりがあります。
- 1曲ずつ消す
- ディスクの中のすべての曲を消す
- 1曲中の一部分を消す

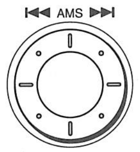
消去した曲番には次の曲が順に繰り上がり、改めて連続した曲番配列になります。たとえば、曲番1を消すと、元の曲番2が1に繰り上がります。（2曲以上消すときは、途中の曲番が変わらないように、後ろの曲から消すほうが確実です。）
一度消すと、元に戻せないので、消す前に消してよい曲かを頭出しして確認してください。

1曲ずつ消す

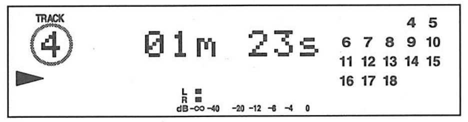
曲番を指定するだけで、1曲をまるごと消すことができます。
停止中、演奏中、演奏一時停止中に行えます。



1 AMSつまみを回して、消したい曲の曲番をディスプレイに出す。



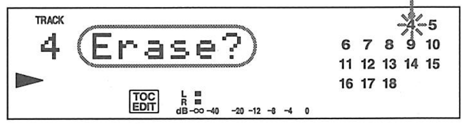
4曲目を消すときの例



2 EDIT/NOボタンを数回押して、ディスプレイに「Erase ?」を出す。

EDIT/NO

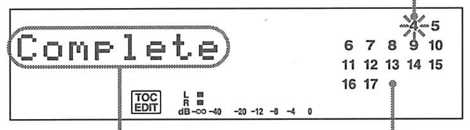
点滅



3 YESボタンを押す。

YES

点滅



数秒間出て消えると、指定した曲が消えます

1曲分減っています

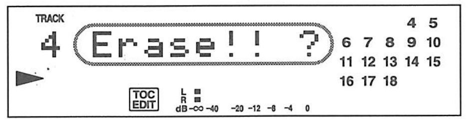
演奏していたときは、消した次の曲の演奏が始まります。

4 続けて曲を消すときは、手順1から3を繰り返す。

曲を消すのを途中でやめるには
EDIT/NOボタンまたは■ボタンを押す。またはAMSつまみを回して曲番を変え、ディスプレイの「Erase ?」を消す。

ご注意

ディスプレイに次の表示が出たときは?



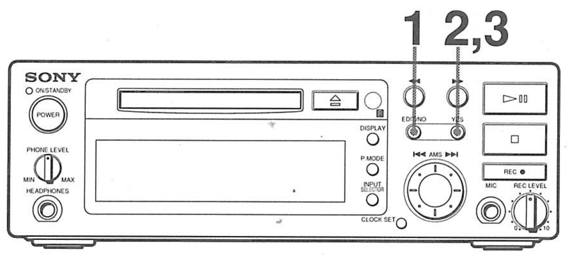
本機以外のミニディスクレコーダーで録音編集されて、その曲が誤消去防止状態になっています。
それでも消したい場合は、この表示が出ている間にYESボタンを押します。

「Protected」表示が出たら
ディスクが誤消去防止状態になっていて、曲を消すことができません。
ディスクの誤消去防止つまみをずらして孔が閉じた状態にしてから、曲を消してください。

ディスプレイの「TOC」が点滅中は?
編集した内容を記録しているので、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
編集を行った後は、ディスプレイの「TOC」が点灯しています。ディスクを取り出そうとするか、電源を切ろうとすると、「TOC」が点滅になり、編集した内容をディスクに記録します。

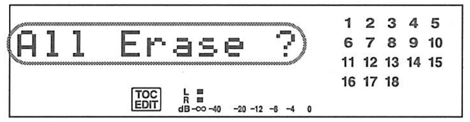
ディスク中のすべての曲を消す

1度に、ディスク中の全曲を消すことができます。いったん消すと、元に戻すことはできませんので、確認後実行してください。



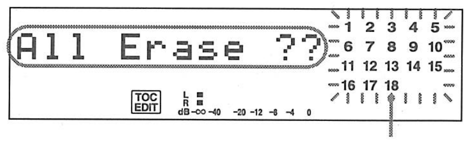
1 停止中に、ディスプレイに「All Erase ?」が出るまでEDIT/NOボタンを押す。

EDIT/NO



2 YESボタンを押す。

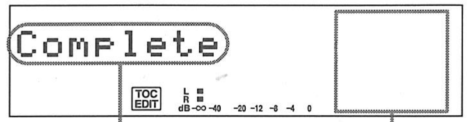
YES



点滅

3 もう一度YESボタンを押す。

YES



数秒間出て消えると、ディスク中の全曲が消えます

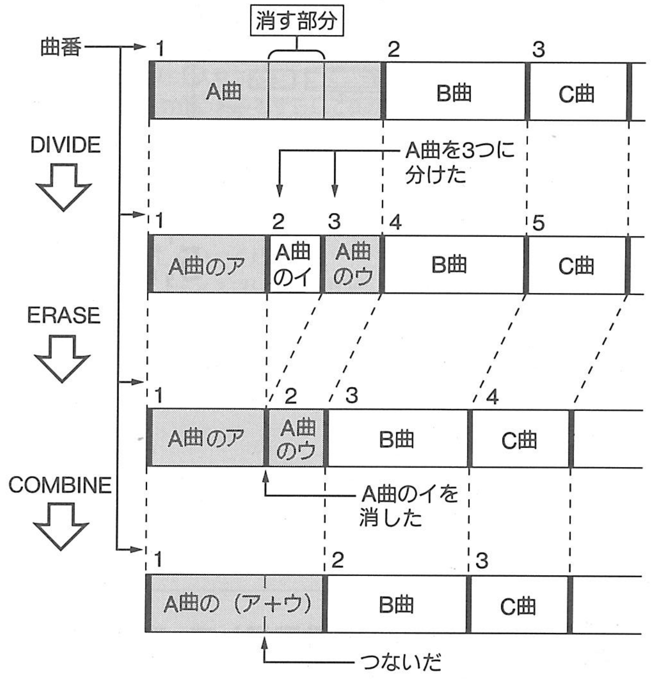
全曲消えています

曲を消すのを途中でやめるには
EDIT/NOボタンまたは■ボタンを押して、ディスプレイの「All Erase ?」を消す。

1曲中の一部分を消す

曲を分ける（DIVIDE）、曲を消す（ERASE）、曲をつなぐ（COMBINE）の3つの機能を組み合わせて使い、1曲中の一部分だけを消すことができます。

例）A曲の一部分を消すとき



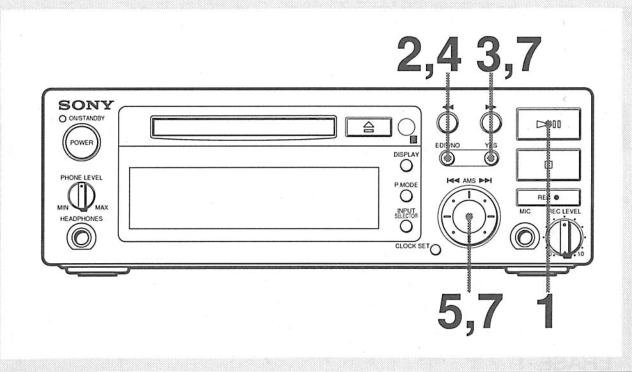
ご注意

「Protected」表示が出たら
ディスクが誤消去防止状態になっていて、曲を消すことができません。
ディスクの誤消去防止つまみをずらして孔が閉じた状態にしてから、曲を消してください。

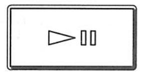
ディスプレイの「TOC」が点滅中は?
編集した内容を記録しているので、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
編集を行った後は、ディスプレイの「TOC」が点灯しています。ディスクを取り出そうとするか、電源を切ろうとすると、「TOC」が点滅になり、編集した内容をディスクに記録します。

曲を分ける(DIVIDE機能)

録音後に1曲を2つの曲に分け、新たに頭出しのための曲番を記録します。アナログ録音したディスクなどで1つの曲番に複数の曲が録音されている場合や、曲の途中で頭出し点をつくるときに使用します。
分けた曲以降の曲番は順に1番ずつ加算され、改めて連続した曲番配列になります。
演奏中に行います。

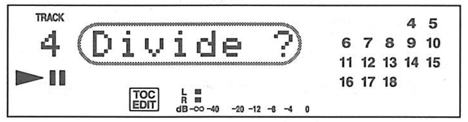


1 曲を分けたいところで►IIボタンを押して一時停止にする。

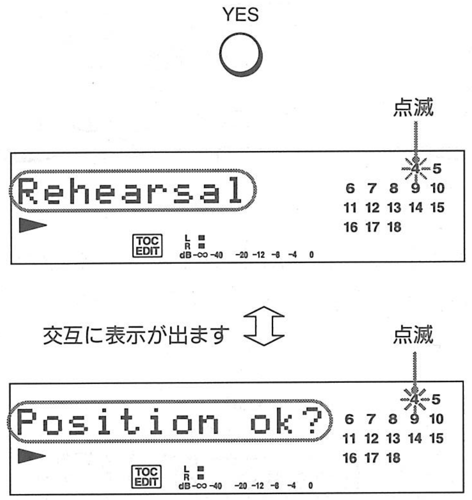


2 EDIT/NOボタンを数回押して、ディスプレイに「Divide ?」を出す。

4曲目の途中で曲を分けるときの例

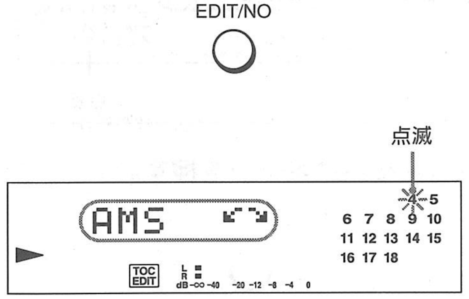


3 YESボタンを押す。

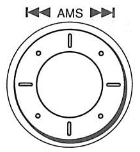


分けるところを繰り返し演奏します。

4 分けたいところを演奏していないときは、EDIT/NOボタンを押す。(分けたいところを演奏しているときは、手順7の操作に移る。)



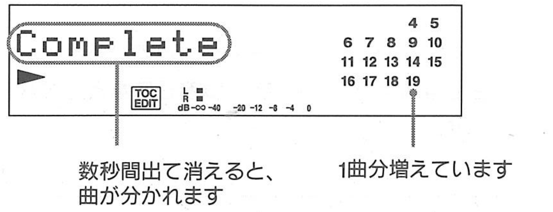
5 繰り返し演奏される音を聞きながら、AMSつまみを回して、少しずつ分けるところをずらす。



分けるところを繰り返し演奏します。
その中で−128から+127まで移動できます。
(±01は約0.06秒)

6 分けたいところを演奏していないときは、手順5を繰り返す。

7 分けたいところを演奏しているときは、YESボタン、またはAMSつまみを押す。



分かれ目の次の曲の頭から演奏が始まります。
分かれた曲に曲名がついているときは、後の曲には曲名がつきません。

曲を分けるのを途中でやめるには
EDIT/NOボタンまたは■ボタンを押す。

1度分けた曲をもとに戻すには
COMBINE機能を使って曲をつなぐ。(36ページ)

ご注意

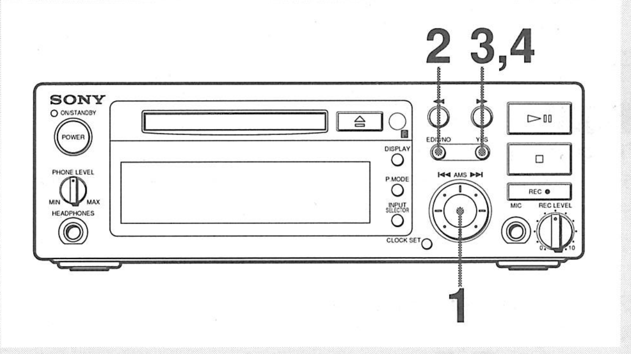
「Protected」表示が出たら
ディスクが誤消去防止状態になっていて、曲を分けることができません。ディスクの誤消去防止つまみをずらして孔が閉じた状態にしてから、曲を分けてください。

ディスプレイの「TOC」が点滅中は?
編集した内容を記録しているので、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
編集を行った後は、ディスプレイの「TOC」が点灯しています。ディスクを取り出そうとするか、電源を切ろうとすると、「TOC」が点滅になり、編集した内容をディスクに記録します。

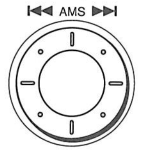
曲をつなぐ（COMBINE機能）

（「COMBINE」のルビ：コンバイン）

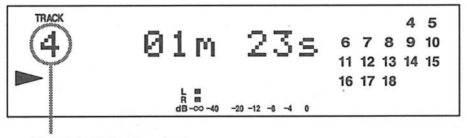
連続した2つの曲を1曲にまとめます。
つないだ曲以降の曲番は繰り上がり、改めて連続した曲番配列になります。
停止中、演奏中、演奏一時停止中に行います。



1 つなぎたい曲の曲番をディスプレイに出す。（1つ前の曲とつなぐ）



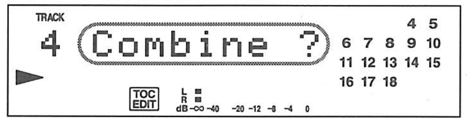
3曲目と4曲目をつなぐときの例



4曲目を表示します

2 EDIT/NOボタンを数回押して、ディスプレイに「Combine ?」を出す。

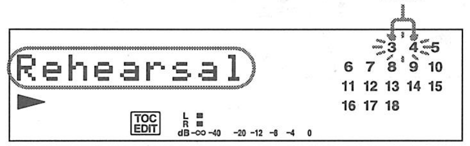
EDIT/NO



3 YESボタンを押す。

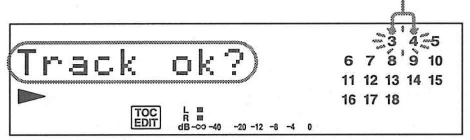
YES

点滅



交互に表示が出ます

点滅

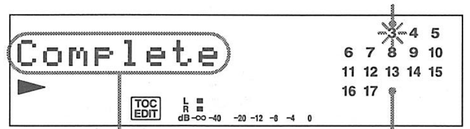


つなぎ目（1曲にする前の曲の終わりと後ろの曲の初め）の部分を繰り返し演奏します。
つなぎ目の部分を演奏していないときは、EDIT/NOボタンを押すと、曲をつなぐのを途中でやめることができます。

4 つなぎ目の部分を演奏しているときは、YESボタンを押す。

YES

点灯



数秒間出て消えると、曲がつながります

1曲分減っています

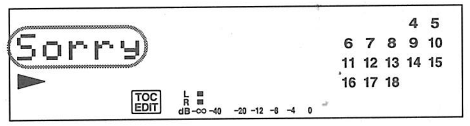
つないだ2曲の両方に曲名がついているときは、後の曲名は消えます。同時に、録音日時などの記録も消えます。

曲をつなぐのを途中でやめるには
EDIT/NOボタンまたは■ボタンを押す。

つないだ曲をもとに戻して2曲に分けるには
DIVIDE機能を使って曲を分ける。（34ページ）

ご注意

ディスプレイに次の表示が出たときは?



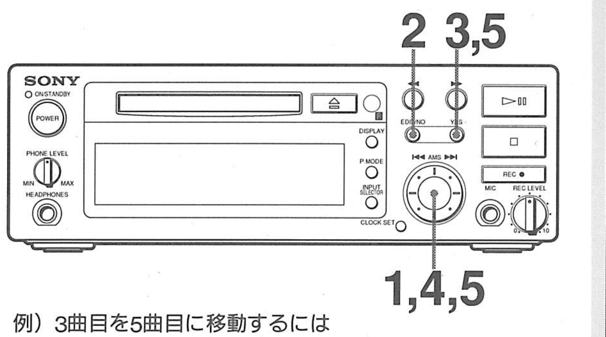
その2曲は1曲につなぐことができません。
何度も編集を繰り返すと、つなぐことができない曲ができる場合があります。
これはミニディスクのシステム上の制約なので故障ではありません。

「Protected」表示が出たら
ディスクが誤消去防止状態になっていて、曲をつなぐことができません。
ディスクの誤消去防止つまみをずらして孔が閉じた状態にしてから、曲をつないでください。

ディスプレイの「TOC」が点滅中は?
編集した内容を記録しているので、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
編集を行った後は、ディスプレイの「TOC」が点灯しています。ディスクを取り出そうとするか、電源を切ろうとすると、「TOC」が点滅になり、編集した内容をディスクに記録します。

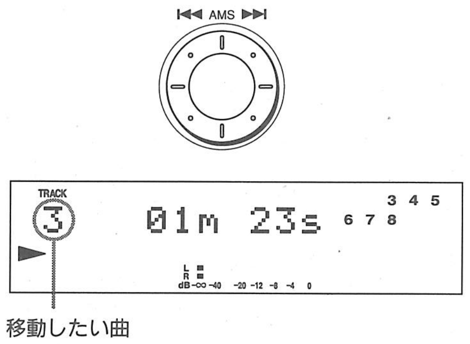
曲を移動する（MOVE機能）

ある曲を好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。移動後の曲番は、改めて連続した曲番配列になります。停止中、演奏中、演奏一時停止中に行います。

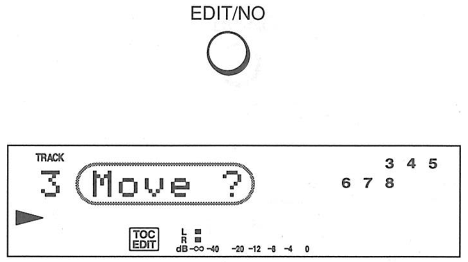


例）3曲目を5曲目に移動するには

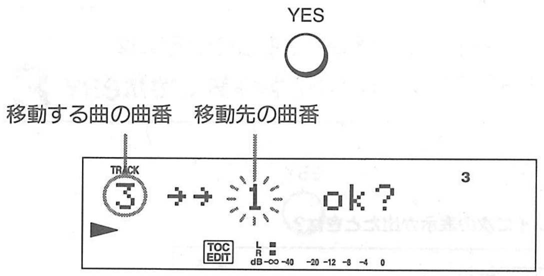
1 AMSつまみを回して、移動したい曲の曲番をディスプレイに出す。



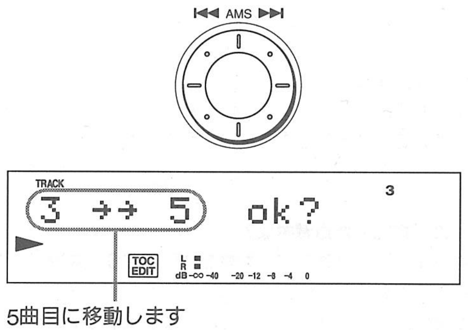
2 EDIT/NOボタンを数回押して、ディスプレイに「Move ?」を出す。



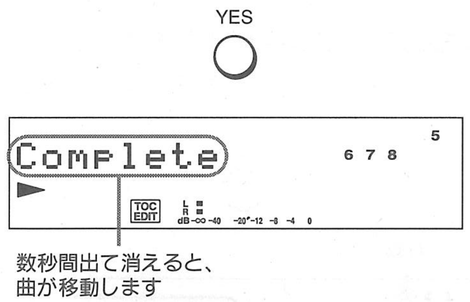
3 YESボタンを押す。



4 AMSつまみで移動先を指定する。



5 YESボタンまたはAMSつまみを押す。



演奏中は移動した曲が演奏されます。

曲を移動するのを途中でやめるには
■ボタンを押す。

ご注意

「Protected」表示が出たら
ディスクが誤消去防止状態になっていて、曲を移動することができません。ディスクの誤消去防止つまみをずらして孔が閉じた状態にしてから、曲を移動してください。

ディスプレイの「TOC」が点滅中は？
編集した内容を記録しているので、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
編集を行った後は、ディスプレイの「TOC」が点灯しています。ディスクを取り出そうとするか、電源を切ろうとすると、「TOC」が点滅になり、編集した内容をディスクに記録します。

曲名やディスク名を付ける（TITLE機能）

つづく

アルファベットの大文字や小文字、数字、記号を使って、100文字までの曲名やディスク名を付けることができます。この操作は、本体とリモコンの両方で行えます。

曲名の表示状態を変える

タイトルが付いているディスクでは、演奏が始まるたびに曲名が表示されます。これを解除するには、以下の手順で曲名が表示されないように設定してください。

1 ⏏ボタンを押して、ディスクを取り出す。

2 EDIT/NOボタンを押して、「Select Name ?」を表示させる。

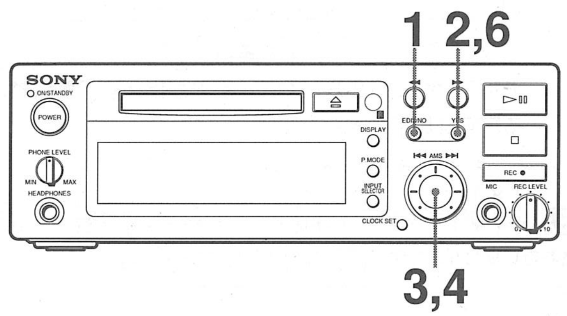
3 YESボタンを押して、「Name ON ?」を表示させる。

4 EDIT/NOボタンを押して、「Name OFF」を表示させる。
これで設定できました。

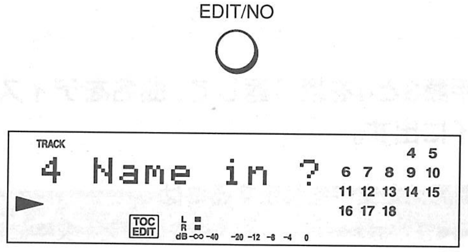
元に戻すには、上記の手順4でYESボタンを押して、「Name ON」を表示させます。

本体で曲名を付ける

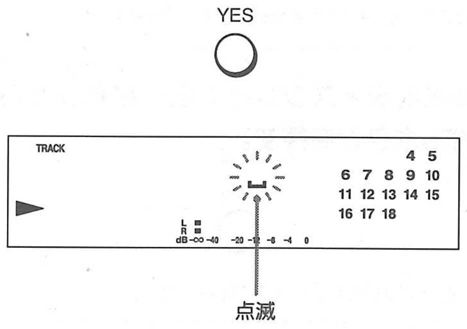
演奏中、演奏一時停止中、録音中に行います。



1 名前を付けたい曲の途中でEDIT/NOボタンを数回押して、ディスプレイに「Name in ?」を出す。

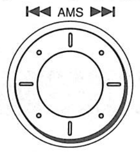


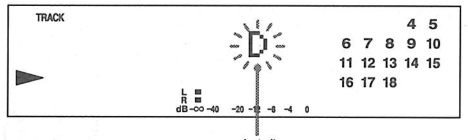
2 YESボタンを押す。



曲を移動する／曲名やディスク名を付ける

3 AMSつまみを回して、最初の文字をディスプレイに出す。





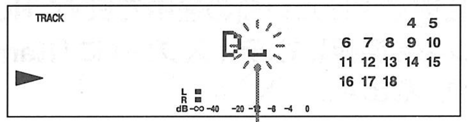
点滅

アルファベットの次に数字、記号が出ます。表示できる記号は以下のとおりです。

! " # $ % & ' ( ) * + , − . ／ : ; 〈 = 〉? @
[¥] ^ _ ` { ¦ } ~

ただし、[¥] { ¦ } ~は本機では入力できても他の機種では表示されない場合があります。

4 AMSつまみを押して、2文字目に進む。



点滅

5 手順3と4を繰り返して、曲名をディスプレイに出す。

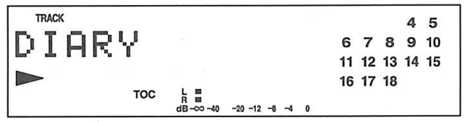
間違えた文字を修正するには
◀◀または▶▶ボタンで点滅を間違えた文字に移動し、手順2と3を繰り返す。

文字を消すには
消したい文字を◀◀または▶▶ボタンで選び、EDIT/NOボタンを押す。

スペースを入力するには
AMSつまみまたは▶▶ボタンを押す。

6 曲名をディスプレイに出し終わったら、YESボタンを押す。

曲名が最初からディスプレイに出ます。



本体でディスク名を付ける

ディスク名を付けたいディスクを入れ、停止中に行います。

1 停止中にEDIT/NOボタンを数回押して、ディスプレイに「Name in ?」を出す。

2「本体で曲名を付ける」(39ページ)の手順2〜6を行う。

タイトルを付けるのを途中でやめるには ■ボタンを押す。
ディスク中の曲名とディスク名をすべて消すには 1 停止中に、EDIT/NOボタンを押し、「All Erase ?」を出す。 2 もう1度EDIT/NOボタンを押してディスプレイに「Name Erase?」を出す。 3 YESボタンを押す。

ご注意

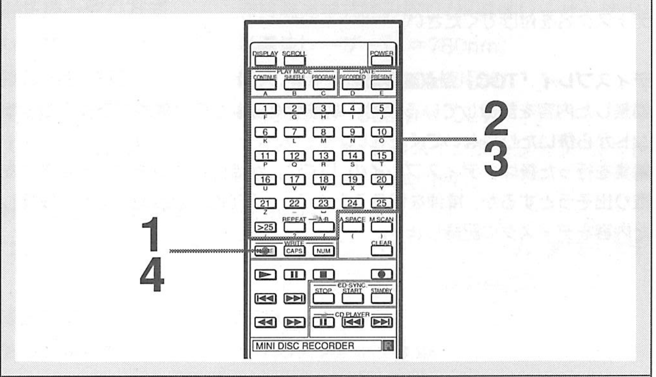
「Protected」表示が出たら
ディスクが誤消去防止状態になっていて、曲名やディスク名を付けることができません。
ディスクの誤消去防止つまみをずらして孔が閉じた状態にしてから、曲名やディスク名を付けてください。

ディスプレイの「TOC」が点滅中は?
編集した内容を記録しているので、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
編集を行った後は、ディスプレイの「TOC」が点灯しています。ディスクを取り出そうとするか、電源を切ろうとすると、「TOC」が点滅になり、編集した内容をディスクに記録します。

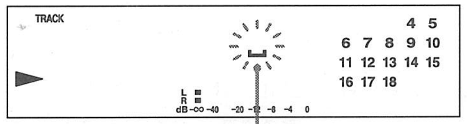
つづく

リモコンで曲名を付ける

演奏中、演奏一時停止中、録音中に行います。

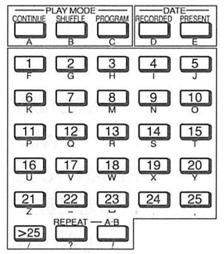


1 名前を付けたい曲の途中でNAMEボタンを押す。

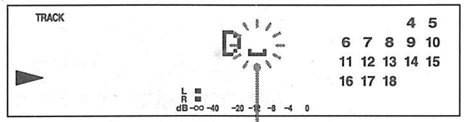


点滅
ここに文字を入れていきます

2 アルファベット/数字ボタンを押して、曲名を1文字ずつディスプレイに出す。



「D」ボタンを押したときの例

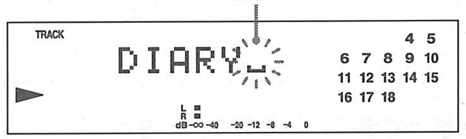


点滅

3 手順2を繰り返して、曲名をディスプレイに出す。

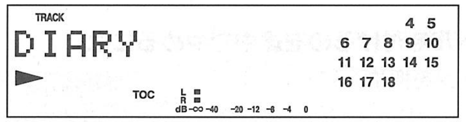
間違えた文字を修正するには
◀◀または▶▶キーで点滅を間違えた文字に移動し、CLEARボタンを押してから手順2を繰り返す。

点滅



4 曲名をディスプレイに出し終わったら、もう1度NAMEボタンを押す。

曲名が最初からディスプレイに出ます。



リモコンでディスク名を付ける

ディスク名を付けたいディスクを入れ、停止中に行います。

1 停止中に、NAMEボタンを押す。

2「リモコンで曲名を付ける」の手順2〜4を行う。

アルファベットの小文字を使ってタイトルを入れるときには

1 CAPSボタンを押して、ディスプレイに「Selected abc」を出す。
2 アルファベット／数字ボタンを押して文字を入れる。
アルファベットの大文字に戻すときは、もう1度CAPSボタンを押して、ディスプレイに「Selected ABC」を出した後、アルファベット／数字ボタンを押して文字を入れる。

数字を使ってタイトルを入れるときは

1 NUMボタンを押して、ディスプレイに「Selected 123」を出す。
アルファベット／数字ボタンを押して文字を入れる。
アルファベットに戻すときは、CAPSボタンまたはNUMボタンを押して、ディスプレイに「Selected ABC」または「Selected abc」を出した後、アルファベット／数字ボタンを押して文字を入れる。

タイトルを付けるのを途中でやめるには

■ボタンを押す。

1度にタイトルすべてを変えるには

1 曲名を変えるには、曲の演奏中にNAMEボタンを押す。ディスク名を変えるには、停止中にNAMEボタンを押す。ディスプレイにタイトルが出る。
2 CLEARボタンを押したままにして文字をすべて消した後、アルファベット／数字ボタンを押して文字を入れる。
3 NAMEボタンを押す。

ご注意

「Protected」表示が出たら
ディスクが誤消去防止状態になっていて、曲名やディスク名を付けることができません。
ディスクの誤消去防止つまみをずらして孔が閉じた状態にしてから、曲名やディスク名を付けてください。

ディスプレイ「TOC」が点滅中は？
編集した内容を記録しているので、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
編集を行った後は、ディスプレイの「TOC」が点灯しています。ディスクを取り出そうとするか、電源を切ろうとすると、「TOC」が点滅になり、編集した内容をディスクに記録します。

主な仕様

ミニディスクレコーダー部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
ディスク	ミニディスク
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生読み取り方式	非接触光学式読み取り（半導体レーザー使用）
レーザー	半導体レーザー（λ=780nm）
録音再生時間	最大74分（MDW-74使用時）
回転数	約400rpm〜900rpm（CLV）
エラー訂正方式	アドバンスド クロスインターリーブ リードソロモンコード（ACIRC）
サンプリング周波数	44.1kHz
コーディング	アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング（ATRAC）
変調方式	EFM
チャンネル数	ステレオ2チャンネル
周波数特性	5〜20,000Hz±0.3dB
SN比	再生時98dB以上
ワウフラッター	測定限界値（±0.001%W. PEAK）以下

入力端子

	端子形状	入力インピーダンス	基準入力レベル	最小入力レベル
MIC	ステレオミニジャック	600Ω	0.8mVrms	0.3mVrms
LINE IN	ピンジャック	47kΩ以上	500mVrms	158mVrms
DIGITAL IN	角形光コネクタージャック	発光波長660nm	—	—

出力端子

	端子形状	出力レベル	負荷インピーダンス
HEADPHONE	ステレオミニジャック	28mW	32Ω
LINE OUT	ピンジャック	2Vrms（50kΩ時）	10kΩ以上
DIGITAL OUT	角形光コネクタージャック	−18dBm	発光波長660nm

電源・その他

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	15W
最大外形寸法	225×75×295mm（幅／高さ／奥行、最大突起部含む）
質量	約2.8kg

付属品
5ページをご覧ください。

別売りアクセサリー
オーディオ用光伝送ケーブル POC-15A
録音用ミニディスク（生ディスク）
MDW-60（60分用）、MDW-74（74分用）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件に従って修理を致します。ただし、本製品の故障、誤作動または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを ➡	この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも具合の悪いときはサービスへ ➡	お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は ➡	保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は ➡	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではミニディスクレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください

- 型式：MDS-102
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

メッセージ表示一覧

お使いになっているとき、状況により、英語のメッセージが出ます。日本語の意味は下の表の通りです。

メッセージ	意味
Blank Disc	購入したばかりの録音用ディスク､または全曲を消去した録音用ディスクが入っている。
Cannot Copy	デジタル録音できない状態になっている。(「シリアルコピーマネージメントシステム」48ページを参照)
Cannot EDIT	PROGRAM、SHUFFLE演奏のモードで編集しようとした。またディスクに漢字／カナコードが入っている。
Disc Error	異常な（損傷している、TOCが入っていない）ディスクが入っている。
Disc Full	ディスクの残り時間がないため、録音できない。(「システム上の制約」を参照)
Impossible	ディスクの1曲目で「Combine」しようとした。1曲目では「Combine」の操作ができない。
Name Full	入っている曲名とディスク名が最大値に達した。1792文字までしか入れることができない。
NO DISC	ディスクが入っていない。
No Track	曲は入っていないが、ディスク名だけが付いているディスクが入っている。
Protected	ディスクが誤消去防止状態になっている。
Retry	録音中、振動やディスクの傷があったので、記録し直している。
Retry Error	録音中、振動やディスクの傷がいくつもあったため、記録し直しが連続し、正常に録音できない。
Sorry	つなぐことができない曲をつなごうとした。

システム上の制約について

ミニディスク（MD）システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

●最大録音可能時間（60分、74分）に達していなくても、「Disc Full」が表示される。

MDシステムでは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full」の表示が出ます。255曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚目のディスクに分けて録音してください。

●曲数も録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される。

曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ます。

●短い曲を何曲消してもディスクの残り時間が増えない。

ディスクの残り時間を表示するとき、8秒以下の部分は無視するので、短い曲を消しても時間が加算されないことがあります。

●つなぐことができない場合がある。

編集を行ってできた曲は､つなぐことができない場合があります。

●ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間（60分、74分）に一致しない場合がある。

通常、1クラスタ（約2秒）が最小単位で録音されます。それに満たないものでも2秒分のスペースを使います。このため、実際に使用できる時間は少なくなります。

また、ディスクに傷があると、その部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。

●編集でできた曲でサーチを行うと、音が途切れることがある。

●曲番が正確につかないことがある。

デジタル接続でCDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。

また、LevelSync ONで自動的にトラックマーキングを行った場合、録音するものの内容によっては、曲番が正確につかない場合があります。

●「TOC Reading」の表示がなかなか消えない。

購入したばかりの録音用ディスクを入れると、通常より「TOC Reading」表示が長く表示されます。

●本機はHi-Fiステレオ機器なので、モノラルフォーマットのディスクには対応していません。

故障かな?

サービス窓口にご相談になる前にもう1度チェックしてみてください。

症状	原因	処置
操作を受けつけない	ディスクが汚れている、または損傷している。(「Disc Error」表示が出る。)	新しいディスクと取り替えてください。
再生できない	結露（内部に水滴が付着）している。	ディスクを取り出して、そのまま数時間置いてください。
	電源が入っていない。	電源を入れてください。
	ディスクを逆向きに差し込もうとしている。	ディスクの矢印の向きに合わせて差し込んでください。
	何も録音されていないディスクが入っている。(ミュージックカレンダーが出ない。)	録音されているディスクと取り替えてください。
録音できない	ディスクが誤消去防止状態になっている。(「Protected」表示が出る。)	ディスクの誤消去防止つまみをもどして孔を閉じます。
	音源と正しく接続されていない。	接続し直してください。
	アナログ入力時（ライン入力、マイク入力時）に録音レベルが小さすぎる。	REC LEVEL調節つまみで録音レベルを調節します。
	演奏専用ディスクが入っている。	録音用ディスクと取り替えます。
	ディスクの残り時間がない。	残り時間が充分ある録音用ディスクと取り替えます。または、不要な曲を消してください。
	録音中に電源コードが抜かれた、または停電になった。	それまでの録音の内容は失われる恐れがあります。はじめから録音し直してください。
	録音一時停止は約10分後に自動的に解除される。	もう一度、REC●ボタンを押す。
雑音が多い	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから充分離して置いてください。
カレンダー・時計が狂う	電源を途中で抜いた。長時間の停電があった。	時計を合わせなおしてください。
録音するとすでに録音された内容がすべて消えてしまった	録音状態を設定していない。	録音状態の設定を行ってください。(P.20)
—	—	上のどの処置でも正常に動作しない場合は、電源プラグをはずし、再度電源プラグを入れ直してください。

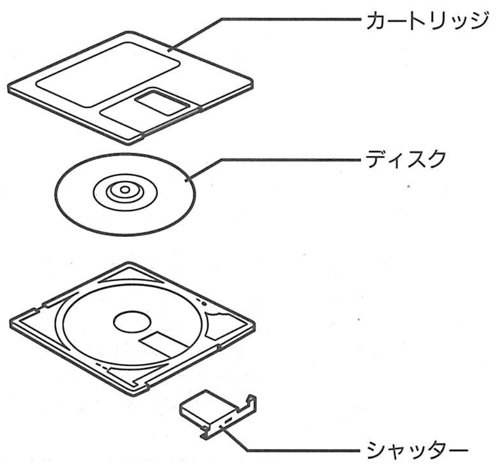
ミニディスクとは?——解説

いつでも、どこでも、手軽に高音質の音楽を楽しみたい——ディスク時代のニーズにお応えするニューメディアとしてソニーが独自に開発したのがミニディスクです。

ミニディスクとは?

直径わずか64mmのディスク。それをカートリッジに収めたのがミニディスクです。カートリッジの大きさも、68×72mm、厚さ5mmとポケットサイズ。録音、再生ともデジタル方式なのでノイズやひずみがきわめて少なくコンパクトディスクに迫る高音質を実現しています。
また、テープのように伸びたりからんだりする恐れがまったく無く、音質も劣化せず耐久性に優れています。
さらに、カードリッジに収められているのでほこり、きず、指紋などを気にせず手軽に取り扱えます。

●ミニディスクの構造（録音用）



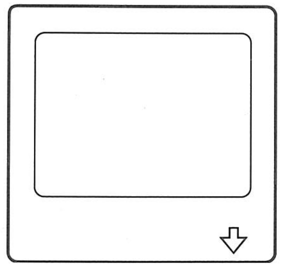
2種類のディスク

ミニディスクには、再生専用のものと録音できるものとの2種類あります。

再生専用ミニディスク

再生のみが可能なディスクで、市販のMDソフトはこのタイプを使用しています。再生専用ミニディスクはコンパクトディスクと同じ光ディスクで、ピット（小さなくぼみ）の有無でデータが記録されています。再生は、録音用ミニディスクと共通の光学ピックアップで行います。

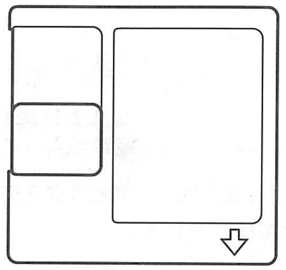
●再生専用



録音用ミニディスク

何回でも録音・再生できるいわゆる「生ディスク」です。光磁気（MO: Magneto-Optical）ディスクを使用しており、レーザーと磁気で記録する磁界変調オーバーライト方式を採用しています。

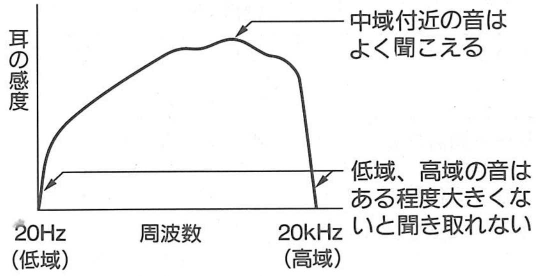
●録音用



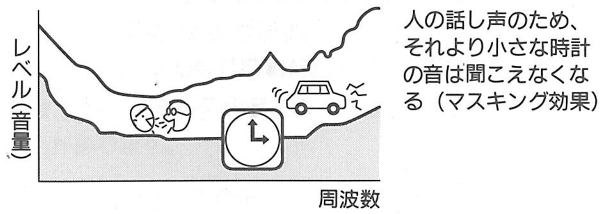
ATRAC（アトラック）で小型化を実現

ミニディスクはコンパクトディスクの約半分のサイズでありながら同じ長さの音楽を記録することができます。それは、新しく開発された音声圧縮技術「ATRAC: Adaptive TRansform Acoustic Coding」によって可能になりました。新技術ATRACでは、人の耳には聞こえない音をカットして音楽データを1/5に圧縮します。聴覚心理学に基づいてデータが取捨選択されるので、聴感上の音質が損なわれることはありません。

●聞こえない音 その1：耳の感度に達しない



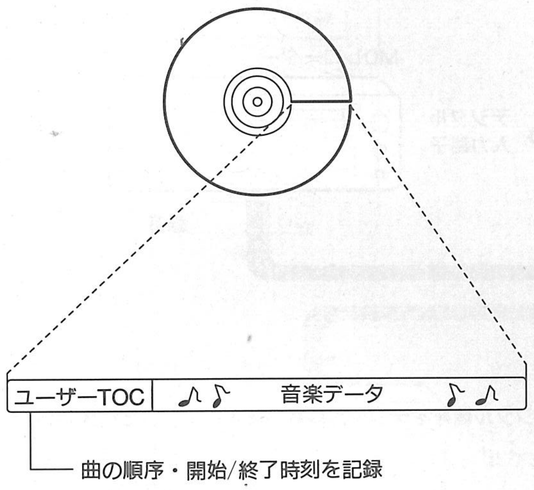
●聞こえない音 その2：耳のマスキング効果



瞬時に選曲（ランダムアクセス）

ディスクならではの大きな特長がその選曲性のよさ——瞬時に目的の曲の頭出しをすることです。しかも録音用ミニディスクでは頭出しのみならず録音した曲の編集もすばやく行えます。これは曲の情報（開始時刻・終了時刻・順序など）をすべて「ユーザーTOC（Table Of Contents）」と呼ばれる領域で管理しているからです。この領域は音楽データとは別に存在しているので、ユーザーTOCの情報を変更するだけで編集が可能になります。たとえば、テープで曲の消去をするためには消したい曲の頭から終りまで無音で録音しなおさなければなりません。これに対してミニディスクの場合は、ユーザーTOCの情報を書き換えるだけで曲を簡単に消すことができます。

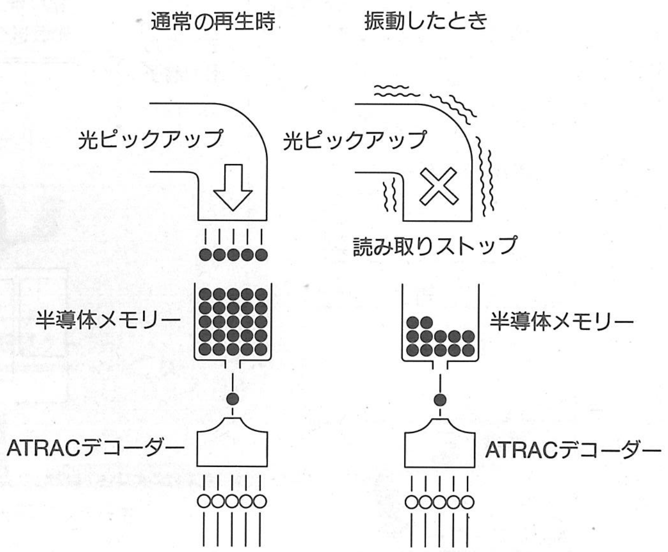
●ユーザーTOC



音とびガードメモリー

従来の光・光磁気ディスクの弱点は振動に弱く音とびしやすいことでしたが、ミニディスクでは新開発の耐振技術音とびガードメモリーを採用し耐振性を飛躍的に向上させました。音とびガードメモリーの特長は、ディスクから読み取られたデータをすぐ再生するのではなくいったん半導体メモリーに蓄えておくところにあります。読みとられたデータは圧縮されているので（前述）、半導体メモリーから次にATRACデコーダーに流れていきそこで圧縮を解かれます。もし、再生時の揺れにより光学ピックアップからのデータの流れが途切れても、半導体メモリーには数秒分の圧縮データが蓄えられているのでATRACデコーダーには切れ目なく圧縮データが送られていきます。半導体メモリーのデータがなくなる前に光学ピックアップによるデータの読み取りが再開すれば、音とびは発生しないことになります。

●音とびガードメモリー

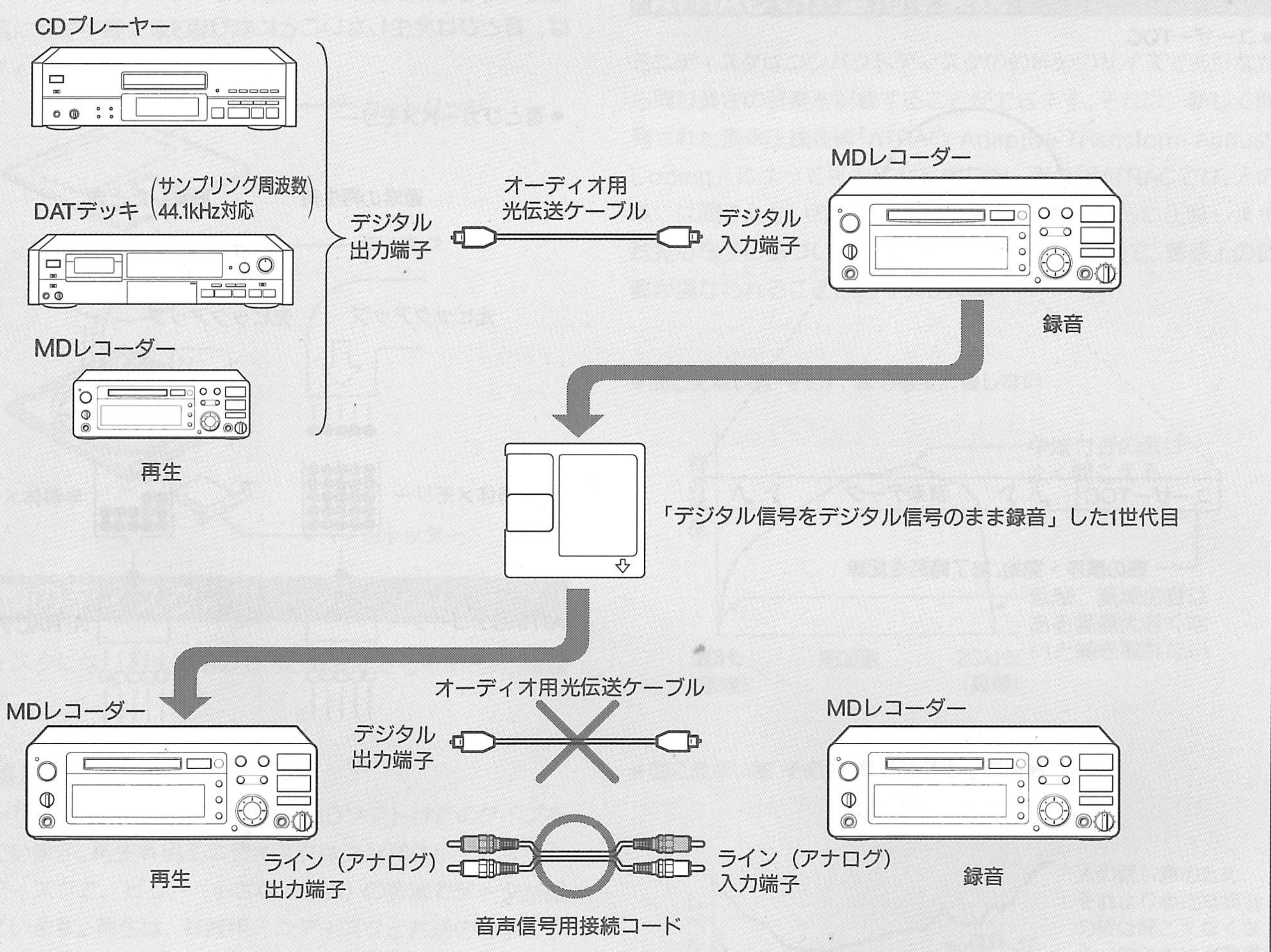


デジタルオーディオソフトをコピーするときのルールについて（シリアルコピーマネージメントシステム）

デジタル入力で録音したディスクをさらにデジタル入力で録音することはできません。
本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。「シリアルコピーマネージメントシステム」は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」するというデジタル信号どうしのコピーを、「1世代まで」と規制したものです。
本機については、2つの原則があります。

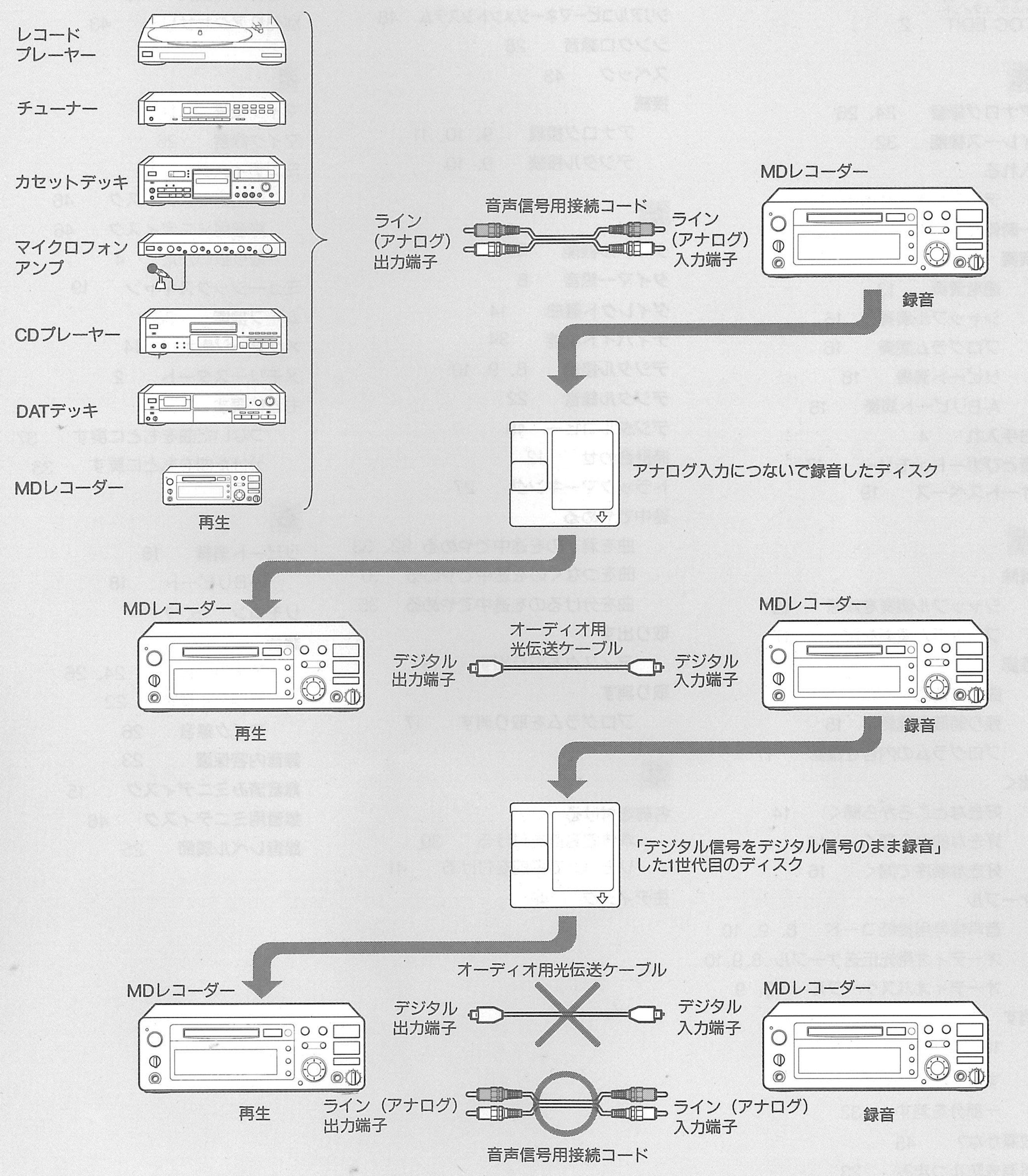
原則1 コンパクトディスク（CD）またはデジタルオーディオテープ（DAT）ソフト、ミニディスク（MD）ソフトから、ミニディスクへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。

しかし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したミニディスクから、他のミニディスクへ、「デジタル信号をデジタルのまま録音」できません。



原則2 アナログレコードやFM放送などを本機で録音したミニディスクから他のミニディスクへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。

ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したミニディスクから、他のミニディスクへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。



MDレコーダーどうしをアナログ入出力端子につないだときは、
何回でもミニディスクに録音できます。

索引

A～Z

エーエムエス
AMS　14
アトラック
ATRAC　46
レベル　シンク
Level Sync　27
トック
TOC　47
トック エディット
TOC EDIT　2

あ

アナログ録音　24、26
イレース機能　32
入れる
　ディスクを入れる　13
一時停止　13
演奏
　通常演奏　13
　シャッフル演奏　16
　プログラム演奏　16
　リピート演奏　18
　A-Bリピート演奏　18
お手入れ　4
音とびガードメモリー　47
オートスペース　19

か

解除
　シャッフル演奏を解除　16
　プログラム演奏を解除　17
確認
　曲名を確認　15
　残り時間を確認　15
　プログラムの内容を確認　17
聞く
　好きなところから聞く　14
　好きな曲から聞く　14
　好きな順序で聞く　16
ケーブル
　音声信号用接続コード　8、9、10
　オーディオ用光伝送ケーブル　8、9、10
　オーディオバスケーブル　8、9
消す
　1曲ずつ消す　32
　すべての曲を消す　33
　一部分を消す　33
故障かな?　45
誤消去防止つまみ　23
コンバイン機能　36

さ

再生用ミニディスク　46
サンプリング周波数　8
システム上の制約　44
シャッフル演奏　16
シリアルコピーマネージメントシステム　48
シンクロ録音　28
スペック　43
接続
　アナログ接続　9、10、11
　デジタル接続　9、10

た

タイトル機能　39
タイマー録音　8
ダイレクト選曲　14
ディバイド機能　34
デジタル接続　8、9、10
デジタル録音　22
デジタルコピー　48
時計合わせ　12
トラックマーキング　27
途中でやめる
　曲を消すのを途中でやめる　32、33
　曲をつなぐのを途中でやめる　37
　曲を分けるのを途中でやめる　35
取り出す
　ディスクを取り出す　13
取り消す
　プログラムを取り消す　17

な

名前を付ける
　本体で名前を付ける　39
　リモコンで名前を付ける　41
生ディスク　46

は

早送り、早戻し　14
ピクシー　9
付属品　5
プログラム演奏　16
別売りアクセサリー　43

ま

マイク接続　11
マイク録音　26
ミニディスク　46
　再生用ミニディスク　46
　録音用ミニディスク　46
　取り扱いかた　4
ミュージックスキャン　19
ムーブ機能　38
メッセージ表示　44
メモリースタート　2
もとに戻す
　つないだ曲をもとに戻す　37
　分けた曲をもとに戻す　35

ら

リピート演奏　18
　A-Bリピート　18
リモコン　5、7
録音
　アナログ録音　24、26
　デジタル録音　22
　マイク録音　26
録音内容保護　23
録音済みミニディスク　15
録音用ミニディスク　46
録音レベル調節　25

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)251-5111

Printed in Japan

3-757-685-**01** (1)

SONY

ミニディスクレコーダー
MDS-102

操作早わかりカード
●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

録音状態を設定する（取扱説明書20〜21ページ）

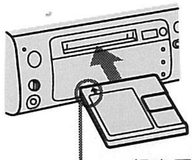
録音状態を設定せずに、ディスクを入れてすぐに録音を始めると、すでに録音されている内容を消去し、新しい内容を録音します。

すでに録音されている内容を残して録音したい場合は、右の設定を行ってください。

電源コンセントを入れる ➡ POWER：ディスクが入っている場合は、ディスクを取り出す ➡ EDIT/NO：「Select REC?」を表示 ➡ YES：「All REC?」を表示 ➡ EDIT/NO：「All REC OFF」を表示

演奏する（取扱説明書13〜19ページ）

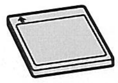
POWER ➡



録音用ディスク

ディスク上面の矢印の向きに差し込む

または



MDソフト

➡ ▷II または |◀◀ AMS ▶▶| **押す**

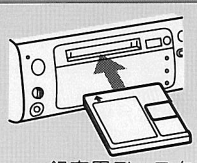
演奏が始まる

一時停止 / **一時停止解除**	▷II または |◀◀ AMS ▶▶| **押す**
停止	□
ディスクを取り出す	≜
曲の頭出しをする（AMS）	演奏中に |◀◀ AMS ▶▶|
聞きたい曲を直接選ぶ（ダイレクト選曲）	|◀◀ AMS ▶▶| **回す** ➡ |◀◀ AMS ▶▶| **押す**

録音する（取扱説明書20〜29ページ）

デジタル入力端子につないで録音する（22ページ）

POWER ➡

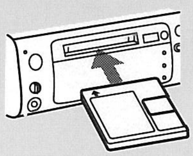


録音用ディスク

➡ INPUT SELECTOR：「Digital in」を表示 ➡ REC ●：録音一時停止 ➡ ▷II：録音が始まる ➡ 他機（CDなど）で演奏を始める ➡ **録音を終えるとき** □

ライン入力端子につないで録音する（24ページ）

POWER ➡



録音用ディスク

➡ INPUT SELECTOR：「Analog in」を表示 ➡ REC ●：録音一時停止 ➡ 他機（CDなど）で録音したい音を出す ➡ REC LEVEL（0〜10）：録音レベルを調節

➡ 他機（CDなど）をいったん止める ➡ ▷II：録音が始まる ➡ 他機（CDなど）で演奏を始める ➡ **録音を終えるとき** □

録音を終えた後、ディスクを取り出す前に、電源プラグを抜いたり、外部から電源を切らないでください。録音した内容が消えてしまう可能性があります。

©1993 by Sony Corporation Printed in Japan

編集する（取扱説明書30～42）

編集機能についての詳しい説明は、取扱説明書の30、31ページをご覧ください。

曲を消す——ERASE（イレース）機能（32ページ）

1曲ずつ消す

停止中、演奏中、演奏一時停止中に
|◀◀ AMS ▶▶| 回す → 消す曲番を表示
→ EDIT/NO 何回か押して「Erase ?」を表示
→ YES 1曲消える

同じ手順を繰り返して1曲ずつ消していく。

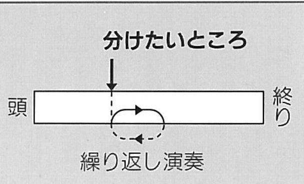
ディスク中の全曲を消す

停止中に
EDIT/NO 「All Erase ?」を表示
→ YES 「All Erase ??」を表示
→ YES 全曲消える

曲を分ける——DIVIDE（ディバイド）機能（34ページ）

演奏中に分けたいところで

▷II 演奏一時停止
→ EDIT/NO 何回か押して「Divide ?」を表示
→ YES 分けるところを繰り返し演奏（右図）
→ YES 曲が分かれる



曲をつなぐ——COMBINE（コンバイン）機能（36ページ）

停止中、演奏中、演奏一時停止中に

|◀◀ AMS ▶▶| 回す 曲番を表示（前の曲につながる）
→ EDIT/NO 何回か押して「Combine ?」を表示
→ YES つなぎ目を繰り返し演奏（右図）
→ YES 曲がつながる

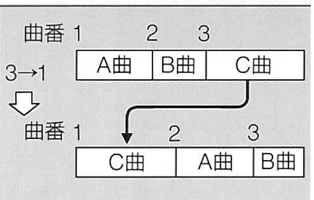
曲を移動する——MOVE（ムーブ）機能（38ページ）

停止中、演奏中、演奏一時停止中に

|◀◀ AMS ▶▶| 回す 移動する曲の曲番を表示
→ EDIT/NO 何回か押して「Move ?」を表示
→ YES 移動先の曲番を表示

移動先の曲番を指定するには

→ |◀◀ AMS ▶▶| 回す
→ |◀◀ AMS ▶▶| 押す 曲が移動する



曲名やディスク名をつける——TITLE（タイトル）機能（39ページ）

- **曲名をつける**
  演奏中、演奏一時停止中、録音中に
- **ディスク名をつける**
  停止中に

EDIT/NO 何回か押して「Name in?」を表示
→ |◀◀ AMS ▶▶| 回す 文字を選ぶ
→ |◀◀ AMS ▶▶| 押す 文字を決定する

曲名やディスク名を入れ終わったら

→ YES 曲名、ディスク名がつく

〔文字を間違えて入れたときは、◀◀ または ▶▶ で戻し、入れ直す。〕

ディスク中の全ての名前（曲名・ディスク名）を消す（40ページ）

1度消すと、元には戻せません。

停止中に

EDIT/NO 「All Erase?」を表示
→ EDIT/NO 「Name Erase?」を表示
→ YES 全ての名前が消える

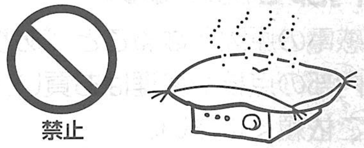
編集の操作を途中でやめたいときは、□ボタンを押す。

つづき

⚠注意

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

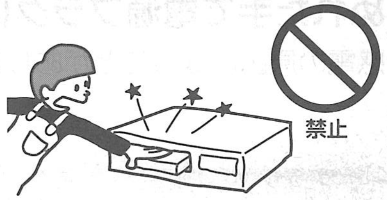


大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクテーブルなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- ボタン型電池は幼児の手の届かないところに置く。
  万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35	お問い合わせはお客様ご相談センターへ ●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

Sony Corporation © 1995 Printed in Japan

SONY

3-800-609-01 (1)

取扱説明書

⚠警告 安全のために

ご使用の前に、この「安全のために」と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」と別冊の取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

この「安全のために」は、オーディオ機器全般の安全上の注意事項を記載しています。今回お買い上げの機器には当てはまらない内容も含まれています。

定期的に点検する

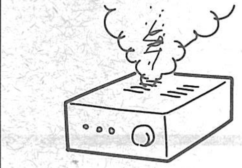
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

1. 電源を切る
2. 電源プラグをコンセントから抜く
3. お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

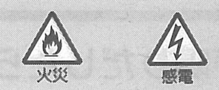
⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号

行為を指示する記号

⚠警告

火災　感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を落とさない

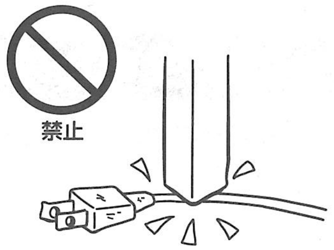
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

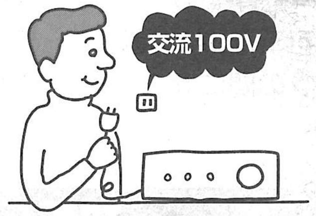
- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。



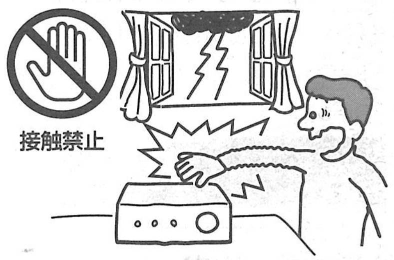
本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



ガス管にアース線やアンテナ線をつながない

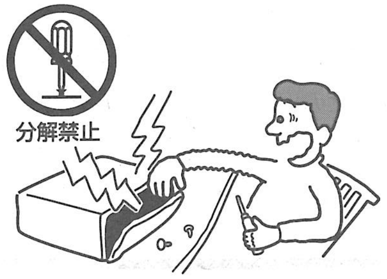
火災や爆発の原因となります。

⚠注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

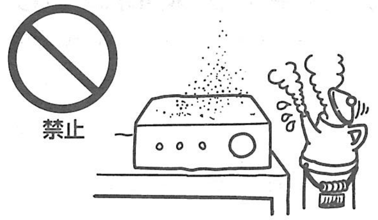
内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

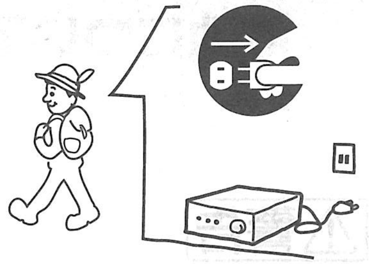


ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

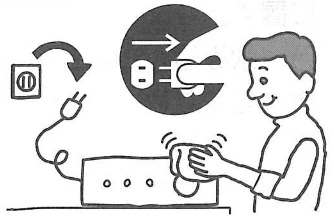
移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



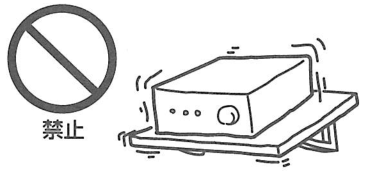
お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度もじゅうぶんに確認してください。



SONY

ソニーご相談窓口のご案内

ソニー製品のお買物相談、アフターサービス(修理)についてはお買上げの販売店または下記お近くの窓口をご利用ください。なお、修理をご依頼される際は、「取扱説明書」に記載の「故障とお考えになる前に」または「故障かな?…」などを一度ご覧になって、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は故障症状を具体的にご連絡ください。

●この「ソニーご相談窓口のご案内」は取扱説明書、保証書と一緒に保管してください。
●ご相談窓口の名称、電話番号、所在地は都合により変更になる場合がございますが、その節はご容赦ください。

【ソニーに関するお問合せは】

お客様ご相談センター

〒261 千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブウエスト 電話番号 03-5448-3311 電話番号 043-297-8080 FAX番号 043-297-7226

〒460 名古屋市中区栄1-23-10 電話番号 052-232-2611

〒550 大阪市西区新町1-34-23 電話番号 06- 539-5111

If you would like to make an inquiry in English about Sony products or Sony Corporation, please contact the following:

Customer Information Center, Sony Corporation
WBG Marive West Building, 2-6 Nakase, Mihama-ku, Chiba-shi, Chiba, 261 Japan
Tel : 03-5448-3311／043-297-8080

【お買物相談窓口】(ソニーマーケティング(株))……お買物、販売店ご紹介、お取扱方法についてのご相談

転送部分の電話料金はソニー側で負担させて頂きます。なお、電話の転送中は、「無音」になる場合がありますが、そのままお待ちください。接続されても混み合っている場合は話し中の「ツー・ツー」音になりますので、お手数ですがお掛け直しください。

都道府県名	電話番号	名称	所在地
北海道	011-272-2772	札幌	札幌市中央区大通西9-1-18ソニー札幌ビル
青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県	022-257-7805	仙台	仙台市宮城野区榴岡2-5-30ソニー仙台第2ビル
茨城県 千葉県	043-234-3014	横浜	転送電話により横浜でお受けしております
栃木県 群馬県 埼玉県	048-652-5609	横浜	転送電話により横浜でお受けしております
東京都区内	03-5487-0530	横浜	転送電話により横浜でお受けしております
東京都下	0425-75-1206	横浜	転送電話により横浜でお受けしております
山梨県	0552-27-3540	横浜	転送電話により横浜でお受けしております
長野県	0263-86-3449	横浜	転送電話により横浜でお受けしております
新潟県	025-274-9452	横浜	転送電話により横浜でお受けしております
神奈川県	045-470-2022	横浜	横浜市港北区新横浜3-20-8 ベネックスS-3ビル
富山県 石川県 福井県	0762-49-7408	名古屋	転送電話により名古屋でお受けしております
岐阜県 静岡県 愛知県 三重県	052-201-6158	名古屋	名古屋市中区栄1-23-10ソニー名古屋ビル

都道府県名	電話番号	名称	所在地
滋賀県 京都府	075-661-3881	大阪	転送電話により大阪でお受けしております
大阪府 奈良県 和歌山県	06-532-5960	大阪	大阪市西区新町1-34-23 ソニー大阪第2ビル
兵庫県	078-453-3780	大阪	転送電話により大阪でお受けしております
鳥取県 島根県 広島県 岡山県 山口県	082-249-7511	大阪	転送電話により大阪でお受けしております
徳島県 香川県 愛媛県 高知県	0899-27-2900	大阪	転送電話により大阪でお受けしております
福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県	092-711-1216	福岡	福岡市中央区長浜1-4-13ソニー福岡第2ビル
沖縄県	098-874-4447	福岡	転送電話により福岡でお受けしております

【修理ご相談窓口】(ソニーサービス)……アフターサービス(修理)についてのご相談

SS(サービスステーション)は、ソニー(株)のサービスを担当しているソニーサービス(株)のサービス窓口です。

名称	電話番号	所在地
北海道		
SS札幌	011-862-4601	003 札幌市白石区本通21丁目北1-14
ソニースクェア札幌SS	011-272-5115	060 札幌市中央区大通西9-1-18ソニー札幌ビル1F
SS函館	0138-43-3211	040 函館市浅野町1-38
SS小樽	0134-25-3539	047 小樽市稲穂2-4-10
SS旭川	0166-57-3411	071 旭川市末広1条8丁目1-30
SS釧路	0154-24-0474	085 釧路市南浜町8-10
SS帯広	0155-22-7273	080 帯広市西10条南9-7
SS北見	0157-24-3222	090 北見市本町4-1-1
青森県		
SS青森	0177-39-9931	030-01青森市大字八ッ役字上林78-43
SS弘前	0172-26-2400	036 弘前市大字末広4-6-9
SS八戸	0178-27-9292	039-11八戸市大字尻内町字島田11-4
岩手県		
SS盛岡	019-652-0202	020 盛岡市中野1-17-3
SS一関	0191-23-2573	021 一関市山目字三反田11-5

名称	電話番号	所在地
宮城県		
SS仙台	022-236-4245	983 仙台市若林区卸町3-6-9
SS仙台中央	022-257-7900	983 仙台市宮城野区榴岡2-5-30ソニー仙台第2ビル
秋田県		
SS秋田	0188-64-1511	010 秋田市山王3-5-32
山形県		
SS山形	0236-41-2351	990 山形市寿町20-12
SS酒田	0234-24-1135	998 酒田市亀ヶ崎2-4-39
福島県		
SS福島	0245-45-5618	960 福島市大平寺字過吹6-2ザ・36メイ・ファイブ
SS会津	0242-26-3518	965 会津若松市門田町大字黒岩字南青木111-1
SS郡山	0249-61-0140	963-02郡山市鳴神1-2
SSいわき	0246-26-8505	973 いわき市小島町3-3-5
茨城県		
SS水戸	029-224-1488	310 水戸市西原1-1-20
SSつくば	0298-71-2180	300-12稲敷郡茎崎町牧園1-5

【修理ご相談窓口】

名　称	電話番号	所　在　地
栃木県		
SS宇都宮	028-662-7355	321　宇都宮市今泉町2995-9
SS足利	0284-42-3968	326　足利市久松町130
群馬県		
SS高崎	0273-61-7705	370　高崎市問屋町西1-1-7
埼玉県		
テレセンター関東	048-654-1488	出張受付および各種問い合わせ（SS熊谷エリアを除く埼玉県全域）
SS大宮	テレセンター関東で承ります	330　大宮市宮原町1-202
SS熊谷	0485-23-3381	360　熊谷市大字石原字正天469番地
千葉県		
テレセンター千葉	0474-63-2100	出張受付および各種問い合わせ（SS木更津、SS銚子エリア以外の千葉県全域）
SS千葉	テレセンター千葉で承ります	260　千葉市中央区都町3-16-3
SS船橋	テレセンター千葉で承ります	274　船橋市薬円台5-6-6
SS木更津	0438-37-6451	292　木更津市桜井新町3-3-1
SS銚子	0479-23-9241	288　銚子市小浜町1987-1
東京都		
テレセンター東京西	03-3993-7391	出張受付および各種問い合わせ（品川、港、中央、千代田、練馬、板橋、新宿、世田谷、目黒、渋谷、大田、杉並、中野、豊島、北、文京、台東、荒川、葛飾、足立、江東、墨田、江戸川および三宅島、御蔵島、八丈島、小笠原諸島）
SS品川	03-5448-3990	141　品川区北品川6-7-35
SS銀座	03-3545-1700	104　中央区銀座7-17-15 日本生命木挽町ビル
SS新宿	03-3341-1781	160　新宿区新宿1-34-8
SS世田谷	03-3705-8512	158　世田谷区等々力8-26-22
SS杉並	03-3332-0457	168　杉並区宮前1-15-13
SS練馬	03-3993-7397	176　練馬区豊玉南2-19-8
SS秋葉原	03-5818-0521	110　台東区上野3-1-2 秋葉原新高第一生命ビル1F
SS多摩	0423-60-6791	183　府中市緑町3-16-7
神奈川県		
テレセンター神奈川	0466-37-1400	出張受付および各種問い合わせ（横浜、川崎、藤沢、相模原、厚木、綾瀬、伊勢原、海老名、鎌倉、三浦、座間、逗子、茅ヶ崎、大和、横須賀、愛甲郡、高座郡、津久井郡、三浦郡、東京都町田市のみ）
SS横浜	045-231-6968	220　横浜市西区花咲町5-137ソニー横浜ビル1F
SS青葉台	045-983-5333	227　横浜市青葉区榎が丘5-5
SS海老名	0462-35-5371	243-04海老名市中央3-2-20 エイムプラザ1F
SS小田原	0465-48-8873	256　小田原市国府津2893-1
新潟県		
SS新潟	025-274-9177	950　新潟市竹尾卸新町752-11
SS長岡	0258-28-2331	940-21長岡市蓮潟4-11-7
SS上越	0255-24-8710	943　上越市幸町1-7
富山県		
SS富山	0764-21-5521	939　富山市二口町250
石川県		
SS金沢	076-249-8660	920-03金沢市古府2-74
SS七尾	0767-53-2011	926　七尾市昭和町51-2
福井県		
SS福井	0776-53-3326	910　福井市米松2-23-25
山梨県		
SS甲府	0552-26-5292	400　甲府市飯田5-17-12
長野県		
SS長野	026-284-2600	381-22長野市稲里町中氷鉋458
SS松本	0263-86-3312	399　松本市芳川村井1018
岐阜県		
SS岐阜	058-272-2290	500　岐阜市宇佐南3-7-3
静岡県		
SS静岡	054-282-6873	422　静岡市緑が丘町1-20
SS浜松	053-464-0515	430　浜松市将監町37-1
SS沼津	0559-22-0069	410　沼津市五月町17-22
愛知県		
SS名古屋	052-777-1221	465　名古屋市名東区高社2-171
SS栄	052-211-5381	460　名古屋市中区栄1-23-10ソニー名古屋ビル
SS豊橋	0532-62-6755	440　豊橋市平川南町78
SS岡崎	0564-58-3030	444　岡崎市六名本町6-3
三重県		
SS津	059-234-7514	514　津市高茶屋小森町字水合409-1
滋賀県		
SS滋賀	077-582-7221	524　守山市勝部町446-7

名　称	電話番号	所　在　地
京都府		
SS京都	075-661-2131	601　京都市南区上鳥羽大物町8ソニー京都ビル
SS福知山	0773-22-8685	620　福知山市厚中49
大阪府		
SS大阪	06-531-4008	550　大阪市西区立売堀1-14-15
SS日本橋	06-643-1501	556　大阪市浪速区日本橋3-8-18 平田ビル1F
SS大阪南	0722-57-7745	591　堺市長曽根町738-3
SS大阪北	06-877-5531	565　吹田市新芦屋下5-1
SS大阪東	06-746-0255	578　東大阪市本庄西1-52
兵庫県		
SS神戸	078-451-0301	658　神戸市東灘区甲南町1-1-40
SS姫路	0792-39-7070	671-11姫路市広畑区長町2-141
SS尼崎	06-436-0426	661　尼崎市南武庫之荘1-29-13
奈良県		
SS奈良	0742-33-5601	630　奈良市三条添川町1-1 ソニー奈良ビル
和歌山県		
SS和歌山	0734-36-3213	641　和歌山市中島201-3
SS田辺	0739-24-2773	646　田辺市宝来町25-16
鳥取県		
SS鳥取	0857-24-2231	680　鳥取市商栄町115-1
島根県		
SS松江	0852-23-8284	690　松江市西津田2-6-23
SS浜田	0855-22-6470	697　浜田市朝日町1547 ふくいビル
岡山県		
SS岡山	086-264-0331	702　岡山市福富中1-1-15
広島県		
SS広島中央	082-240-8851	730　広島市中区中島町2-21ソニー広島第２ビル
SS広島	082-244-2510	730　広島市中区東平塚町2-21ソニー広島第１ビル
SS福山	0849-54-0992	721　福山市曙町3-30-13三平興業ビル1F
山口県		
SS下関	0832-53-0367	751　下関市武久町1-19-20
SS山口	0839-72-3757	754　吉敷郡小郡町緑町4-12
SS徳山	0834-25-1341	745　徳山市大字久米3202-11
徳島県		
SS徳島	0886-99-8156	771-02板野郡松茂町笹木野字八北開拓1-16
香川県		
SS高松	087-851-7295	760　高松市福岡町4-5-1
愛媛県		
SS松山	089-922-3360	791　松山市姫原3-4-13
SS宇和島	0895-23-1556	798　宇和島市御殿町2-12 松井ビル1F
高知県		
SS高知	0888-66-2727	781-51高知市大津甲866-1
福岡県		
SS福岡中央	092-781-6661	810　福岡市中央区長浜1-4-13ソニー福岡第2ビル1F
SS福岡	092-716-5111	810　福岡市中央区長浜2-3-20
SS小倉	093-581-5381	803　北九州市小倉北区東港1-1-17
佐賀県		
SS佐賀	0952-29-6111	840　佐賀市八戸1-6-60
長崎県		
SS長崎	095-824-2434	850　長崎市西山2-6-7
SS佐世保	0956-33-1991	857-11佐世保市大和町808番地
熊本県		
SS熊本	096-378-4477	862　熊本市田迎6-11-3
大分県		
SS大分	0975-51-2200	870　大分市新貝4-41
宮崎県		
SS宮崎	0985-26-2163	880　宮崎市清水1-5-17
鹿児島県		
SS鹿児島	099-260-3177	891-01鹿児島市卸本町5-38
沖縄県		
SS那覇	098-877-0323	901-21浦添市勢理客556-6

7-824-011-10　98.1